9 de Novembro de 1923 No. 318

# Noticias do Brazil

大正十二年十一月九日　金曜日　第三百十八號

# 伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 5695
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno 18$000
„ Semestre 9$000
„ Mez 1$500
„ Semana $500

## 忘れてはならぬ　報恩の念

一

本日『母國大震災義捐金募集團』の發表する處に據れば、在伯同胞の報國的熱情と、同胞愛の情緒とで義捐した其額は、無慮三百七十コントスに達したと云ふことである、尤も此度の大震災に對しては、北米在留同胞の二百餘萬圓を始めとし、秘露在留同胞の十五萬圓、亞爾然丁在留同胞の四萬餘弗と計算するに於ても一人當り十五圓から二十圓の醵出で、必ずしも伯國在留の同胞のみ他に挺たと云ふ譯ではない。

二

然し伯國在留同胞の單位は總て家族移植民より成り、其内には無論年寄もあれば小供もある、故に在留者四萬と云つても、能率の上から云へば其數二萬人にも達しない位ひで、此人數で能くも斯く迄出し得たものだと感心せざるを得ないのである、それに今回の出し振りは各々自發的に、他から見れば隨分思ひ切つた額を『これでは、まだ少ないのです』との言葉を附加へて送金する人の殆んど其全部なるに至つては、更に讃嘆せざるを得ないのである。

三

尤も日本人は平常事なき際には競爭、排擠、陷阱を敢てして何等怪む處なきに反し、一朝國家有事の場合には發作的に、自己の有する如何なる物をも投げ出して惜まぬと云ふ風があるから、今回の義捐金應募の擧も其れではあるまいかと言ふ人もあるが、吾輩は斷じて左樣でないと思ふのである、なぜならば、此度の大震災は我國に取つての非常事ではあるが、之が直ちに國家の興廢存亡に影響するものでないことを一般に承知しての義捐であるからである。

四

故に在留民の其募りに應ずるや一時發作的の感情ではなく、廣い人類愛の上から深い同情心を發揮し、自己の身を抓つて其痛さを知ると同程度に罹災者の苦痛に同情し、思ひ遣りを持ち、どうしても我慢し切れずして之を救ひ、之を慰めんとして物質に其同情を表はさんとしたものであるから、今回の義捐の擧を『國家の興廢此一擧にあり』と云ふやうな、戰爭の場合と同一に視ることが出來ないのである。

五

其證左としては、常に日本人を危險視して排斥する北米人にしても、大震災の慘狀に對しては人道上默視がたく、一刻の猶豫もなく之が救助に義捐金を募り、僅か一ヶ月ならずして五千萬圓に近き莫大の金を集め日本に送附したるを始め、各國民何れも涙を以て金品を募り、之を日本に送つて罹災者に分ちつゝある、のであるから、此度の事柄は國家や民族の異同問題ではなく、全く人道から來つた人類愛の表現に外ならずと見るべきである。

六

然しながら日本人たる吾々としては、此度の大震災が日本であるだけに、其義捐行爲は如何に廣い意味に於る人類愛から出發したとしても、其行爲の内容には他國人と異つた處なかるべからざると同時に、他國人の我罹災同胞に對して表現した最高の人情美に向つては、啻に賞讃し感は耐獨帝やハースト一派の北米新聞で一時盛に宣傳された日本軍國主義のとばつちりだと共に、當州に於ける唯一の特許植民地なる所から特に目立つものらしい、抑も吾々が植民經營地としてイグアペを選んだ主な理由は、同地がリベイラ河を經て太西洋に通じ船さへ持てば自由に且つ安く物産をサントスやリオ始め北方の大都に運び出し得る便があるからで、海岸の位置其憂の爲過ぎし帝政時代にジョインビレやブルメナウ植民地の建設を許さなかつたとしたら、サンタカタリナ海岸地帶の大部分は今日尚原始林のまゝであつたでせう、又百年前サンレオポルド植民地を設け日耳曼植民招來の端を開かなかつたら南大河州沿海地帶今日の繁榮は見られなかつたでせう

七

蓋し報恩の内には天地の恩もあれば、國王の恩もあり、父母の恩もあるが、此度の場合吾々の心掛けねばならぬことは謂ゆる衆生の恩で、各國人の然ゆるが如き然情結晶して大義捐金品となり、之が期を失せず我震災地へ送られ、百萬の罹災者其お蔭を以て危急を救はれたこと、是れ一に衆生の力であるから、在伯の吾々は此度の母國大震災に就て、伯國朝野の人々から受けた恩惠に對し、機會ある毎に之が報恩を爲すべくはかした事があります、全く無根の揑造通信です、第一カナヲアは漸くら珈琲地帶でない海岸地方は全く開沿岸航路の小船を入るゝに足り到底却され未開の狀態で、土人はゐても懶惰で不生産な爲此儘放つて沿海地の開拓は百年河清を待つに等しい現人種が達ふから日本人は到底伯人に同化しまい、との說は人種異を過重視し人類共通性を思はぬ

獨斷で　あります、現在の植民は大概日本から來て僅數年を經たのみなので伯國語も自由に話せず、又萬事日本式に流れ同化し難い樣に見へますが之は皮相觀で、熟ら植民の兒童即ち後繼者たる者の成長の樣子を觀察すれば、彼等特に就學兒童は驚くべき程速に伯國語を習得し同時に其思想感情嗜好等も段々

伯國化　し行く傾向があつて此調子なら三代目には心から伯國人になつて仕舞う事は疑ない、此點は日本人も伊太利人も日耳人も大差なく或は日耳曼などより日本人の方が早く伯化する事になるかも知れない要するに同化は時の問題です、又外國人の植民地を海岸に建設するは國籍の如何を問はず危險だとも云はれたが之も取越苦勞です、本來

愛國心　は土着に依り自然湧き出るので伯國で生れ伯國で成長すれば血筋はどうでも必ず伯國を愛する樣になります、和蘭系のルーズベルトが米人中の米人と云はれ猶太人のゴンパースが北米勞働協會首領として同國產業界に雄飛し居り、當國では純日耳曼系の人で一州の統領として、伯國外務大臣として聯邦下院議員として、長い間の伯國政治生活中其愛國心に關して未だ曾て

疑はれ　た事なきを見ても判らうぢやありませんか、もしこんな杞憂の爲過ぎし帝政時代にジョインビレやブルメナウ植民地の建設を許さなかつたとしたら、サンタカタリナ海岸地帶の大部分は今日尚原始林のまゝであつたでせう、又百年前サンレオポルド植民地を設け日耳曼植民招來の端を開かなかつたら南大河州沿海地帶今日の

繁榮は　見られなかつたでせう

聖州は專ら珈琲の爲に開けた關係かで移住民收容機關は總て之を創設する必要ある故外國人を招來するには州政府で企業者に特別の

便利を　提供し相當有力な植民會社を組織せしむるか或は州政府自ら大規模の植民地を建設するかにせねばなりません、實際問題としては特許に依り私立植民地の成立を計る外ありますまい、然し其場合州政府は之等外國人植民地に凡そ百家族宛に一校の割合で公立學校を設くる事は當州政府で企業者に特別の便利を提供し相當有力な植民會社を組織せしむるか或は州政府自ら大規模の植民地を建設するかにせねばなりません、實際問題としては特許に依り私立植民地の成立を計る外ありますまい、然し其場合州政府は之等外國人植民地に凡そ百家族宛に一校の割合で公立學校を設くる事は當州政府で企業者に特別の便利を提供し相當有力な植民會社を組織せしむるか或は州政府自ら大規模の植民地を建設するかにせねばなりません、學校は將來の住民を伯國化するに最も有効な機關ですから、植民地の全少年少女が

國人の然ゆるが如き然情結晶して大義捐金品となり、之が期を失せず我震災地へ送られ、百萬の罹災者其お蔭を以て危急を救はれたこと、是れ一に衆生の力であるから、在伯の吾々は此度の母國大震災に就て、伯國朝野の人々から受けた恩惠に對し、機會ある毎に之が報恩を爲すべくはかした事があります、全く無根の揑造通信です、第一カナヲアは漸くら珈琲地帶でない海岸地方は全く開沿岸航路の小船を入るゝに足り到底却され未開の狀態で、土人はゐても軍艦なんぞ出入し得る所ではありまの開拓は百年河清を待つに等しい現人種が達ふから日本人は到底伯人に同化しまい、との說は人種異を過重視し人類共通性を思はぬ

獨斷で　あります、現在の植民は大概日本から來て僅數年を經たのみなので伯國語も自由に話せず、又萬事日本式に流れ同化し難い樣に見へますが之は皮相觀で、熟ら植民の兒童即ち後繼者たる者の成長の樣子を觀察すれば、彼等特に就學兒童は驚くべき程速に伯國語を習得し同時に其思想感情嗜好等も段々

伯國化　し行く傾向があつて此調子なら三代目には心から伯國人になつて仕舞う事は疑ない、此點は日本人も伊太利人も日耳人も大差なく或は日耳曼などより日本人の方が早く伯化する事になるかも知れない要するに同化は時の問題です、又外國人の植民地を海岸に建設するは國籍の如何を問はず危險だとも云はれたが之も取越苦勞です、本來

愛國心　は土着に依り自然湧き出るので伯國で生れ伯國で成長すれば血筋はどうでも必ず伯國を愛する樣になります、和蘭系のルーズベルトが米人中の米人と云はれ猶太人のゴンパースが北米勞働協會首領として同國產業界に雄飛し居り、當國では純日耳曼系の人で一州の統領として、伯國外務大臣として聯邦下院議員として、長い間の伯國政治生活中其愛國心に關して未だ曾て

疑はれ　た事なきを見ても判らうぢやありませんか、もしこんな杞憂の爲過ぎし帝政時代にジョインビレやブルメナウ植民地の建設を許さなかつたとしたら、サンタカタリナ海岸地帶の大部分は今日尚原始林のまゝであつたでせう、又百年前サンレオポルド植民地を設け日耳曼植民招來の端を開かなかつたら南大河州沿海地帶今日の

繁榮は　見られなかつたでせう

## 人種と植民

### 海岸地外國植民不可論は 薄をれ化と見る僻目

#### 聖州上院の討論と 青柳海興重役談話

ミナス州選出一議員が有色移民制限法案を聯邦下院に提出したのに對し日本人と關係深い聖州上院が反對決議をなし其の理由は發議者サアレス氏初め各議員により十分說明された事は前號所報の通りだが當日討論中十餘年前當州政府が始めて日本移民招來を計つた時農務長官として其事に當つたカルロス・ボテエリヨ氏は勞力補充の趣旨で一時的移民として日本人を入れるは よく從つて制限法案には反對だが永住的植民として招來するは考慮を要す而も國防上重要の海岸地帶へ定住せしむる爲種々特典を許容するは此契約をした當時の政府當局の失策だと論じたのをフォンテス氏は米や甘蔗を作つて州富を增し地方の保健に務める四五千乃至一二萬の日本人定住は危險視するは伯國民自身の力を輕んずるものである前統領アルチノ・アランテス氏イグアペを巡廻して日本人の大功績を認め現統領亦一昨年同地を視察して同樣の印象を得たと信ずるが如何なる點で歐獨人は日本人に優るか西伊移民には危險思想者が多いが日本人は勤勉節儉規律正しく法律を遵奉し警察を煩す事件數は諸外國人に比し最低率である該植民地が他日海岸地帶を支配し聖州を日本領土同樣とせんと狙ふとの懸念は再三耳にするが之れ吾人を自ら辱しむる妖怪的想像だと小豆長光翼二つの舌の冴えは近來の痛快事だつたが之に關し直接關係者の地位にある青柳海外興業會社重役の意見をたゝけば元氣よく次のやうに語る

イグアペ植民地の危險視される話は私も之まで間接直接耳にした事があります、だが此樣な杞憂を懷く者は人間より書物とヨリ多く親む學者社會に多く、實業家や經濟政策に

心を傾　ける政治家には殆ど無い樣です、同地事業が少數とは云へとにかくこんな詰らぬ疑を受けるのは耐獨帝やハースト一派の北米新聞シカゴツリビユン記者が植民地を視察であつたでせう、又吾々個人としても一町歩の地も有しません、昨年同地事業が少數とは云へ一時盛に宣傳された日本軍國主義のとばつちりだと共に、當州に於ける唯一の特許植民地なる所から特に目立つものらしい、抑も吾々が植民經營地としてイグアペを選んだ主な理由は、同地がリベイラ河を經て太西洋に通じ船さへ持てば自由に且つ安く物産をサントスやリオ始め北方の大都に運び出し得る便があるからで、海岸の位置其憂の爲過ぎし帝政時代にジョインビレやブルメナウ植民地の建設を許さなかつたとしたら、サンタカタリナ海岸地帶の大部分は今日尚原始林のまゝであつたでせう、又百年前サンレオポルド植民地を設け日耳曼植民招來の端を開かなかつたら南大河州沿海地帶今日の繁榮は見られなかつたでせう

## 謹告

拜啓各位益々御健祥奉賀候陳ば義捐金募集に付ては御熱誠を以て御援助を賜はり十一月三日現在義捐金總額三百七十コントスに相達し申候

第一回發送毛布に關しては前回御報告申上置候通りに御座候が第二回メキシコ丸便（十一月十七日サンス發）にて發送豫定の分（一萬二千七百枚の豫定）も畧其の準備を了し其の内一萬二千枚は已に本月七日迄にサントスへ送荷仕候

追て無遺漏各位の御芳情を母國に相通じ度候に就いては寄附者芳名々簿は出來得る丈け整備したるものを作製致度候間屢次御願申上候如く原籍地御通知漏れの向は至急御報知被下度候十一月十五日迄に御通知拜受致さざる際は其儘名簿作製の已むを得ざるやも測られず候間特に此段御斷はり申上置候

大正十二年十一月九日

母國大震災義捐金募集團

同胞各位

## 内奥地の珈琲地帶でも今日の盛況は帝政の頃セラバーラスの奥新州が進んで大に外國人を招來した結果ではありませんか、もし日本人だけでは將來案じられると云ふなら同地方に伊太利や日耳曼人植民地を建設すべきで餘地尚充分にあります

トリエステと稱された地に伊太利人植民地を設けやうと企てられた事あり又イグアペ地帶はサンタカタリナ沿海地方と氣候風土地勢其他能く似てゐるのだから方法次第では日耳曼人も必ず移住して來ませう、現在の所道路も電信もなく全く未開地なので容易に就學し得る設備さへされば同化は一層速かに實現される事になりませう

## 南米と米國商務官

北米合衆國政府は議會に南米諸國との通商關係に便する爲駐在商務官を一人から二十人に增員する事の承認を求めた又ワーバー商務卿は商務省としての意見は南米の各主要港に一人宛の領事を駐在せしむる事を必要とすると語つたと華府電報に見へたが、日本がうつかりしてゐると南米に於ても亦北米に先ぜられて手も足も出ぬ事になるだらう。

◇外電一束◇

## 米國入國移民過剩

本年米國へ入國許可される最大限の移民數は既に滿員となり約三千人の移民はイリス島に上陸した儘入國が出來ずにある彼等は入國不能ときいて驚駭を始めた爲鎮臨の爲當局は大部隊の警官を同島へ派した(紐育)

## 佛國と南米空中聯絡

ボルドウと南米との定期航空路を開設する諸準備は完成したその計畫はボルドウとダーカー間及ペルナンブコとブエノス間は水上飛行機を以てしダーカーとペルナンブコ間は輕快な怪速艇を以てする實現されるとボルドウとブエノス間の旅程は六日間となる(巴里)

## 舊獨太子入獨拒否

駐佛英國大使は英政府の名儀でポアンカレー首相に舊獨太子の入獨を妨げる爲聯合國一致して干渉すべき事を提議した同首相は其提議を受諾したと確信されてゐる(巴里)

## 濠洲の地震感受

濠洲ビクトリアからの報によれば同地々震計は五千六百哩の地點に起つた地震を感受したが日本のそれのやうに猛烈なものであつた(倫敦)

メルボルン氣象臺は最近數日間千九百七十哩を距る地に起つた地震を感じた(メルボルン)

## 警官八千の罷業

メルボルン市では八千の警官盟休を宣し地方官憲は公安維持の爲熱心に方法を講じてゐると同地から報ぜられる(倫敦)

## 西班牙移民と兵役

西班牙亞米利加青年會は陸軍獨裁官に亞米利加への移民を許し又國家無事の間定住出來るやうに徵兵令改正され度旨請願をした(マドリッド)

## 紐育市場對伯爲替

七日の市場對伯爲替は伯貴一ミルに對し八仙半替と低落したこんなに下つた事は初めてである(紐育)

## 獨逸のパンの値

先戸二十三日に千四百億馬克だつたパンは六日に八百億に下落(伯林)

## 災後の本邦經濟界

震災後に於ける母國經濟界の狀況に關し二十三日着外務省發商務官事務所電報は次の如くである

(一)震災救濟に關し目銀貸出は現に貳億餘圓の增加を示し支拂猶豫令撤廢後の對策實施以來金融平調なるも保險金支拂問題燒失諸銀行の再開始等未だ解決の目安つかざる問題少なからず自然當面の震災需要に據るもの以外一般商取引沈靜、物價は暴利取締法令に依り投機を支へ大體壹貳割高但し最近政府の復興材料輸入方法決定と自治の安定見據へつゝに隨ひ一般貿易取引又漸復に向はんとす

(二)日本銀行は引續き手貨の拂下を行ひ災後約四千萬圓に達し正金銀行にては今後信用狀發行に手加減を加へんとするやうなり何れにするも今後は國內供給力の減少、輸入稅免除一時的物價騰貴とにより一般に輸入增加の傾向惹起すべし、尤も震災損害は我が對外關係に及ぼす影響比較的少なく內外募債市場亦本邦に取り好都合なるを以て對外信用上本邦の地位は懸念すべき点なし

(三)農商務省統計

大正十年中本邦工業生產額三十億六千二百万圓中東京、神奈川兩府縣の年產額四億二千万圓約一割四分割合の大なる貿易關係品に毛斯倫23、(三割三分以下之に準ず)毛布81、絹りボン15、莫大小22、綿糸11、金巾18、紡績絹絲15、絹織物12、化粧石鹼68、麦料18、麦酒22、製革60、西洋紙19、麦粉27、帶帽70、時計87、靴子24、帽子35、鑄鐵19、セメント20、麦藁編木、麻、苧麻20、澱粉20、黃性曹達43、漂白粉42、珐瑯、鐵器15、絕緣電線49、ゴム製品27、皮革製品24、セルロイド製品29、ドロンウチーク73、化粧品42、にして其大部分減却せり

(四)生糸輸出九月以來十月上旬迄約壹萬貳千五百俵中神戸四千四百俵

昨今市況一般絹物引續き神戸より輸出再起、橫濱市場正會、生糸高に昂騰、絹糸紡織損害八十万、製錘機四千臺、九月出來高約十四万梱、八月に比し二万四千梱減少、輸出二万二千五百梱供給減少に底意しつゝ

(五)米作豫想五千八百萬石平年に比し五厘增、米價安定來期精米三百萬石外米二百萬石輸入、砂糖燒失百萬俵なるも在荷過多なりしに台灣糖六百萬噸收穫豫想にて供給潤澤

(六)鐵材は折柄の在荷薄に需要急增市價一割高

(七)其他綿粉、麦酒、深白粉、曹達、用紙、肥料、セメント、硝子等は生產能力の破壞により今後供給減少すべきも從來供給過剩なりし時新の生產設備により今後需要を滿すに足るべし、但し商機待產輸出品中被害大なるものは漸復春易ならず

(八)震災以來激增の近海配船は今後米材積取りに向ふべく米材運賃十四弗半(以下電文略)

●郷里送金相場 橫濱正金銀行リオ支店十一月六日郷里送金相場日本金一圓に付き伯貨五針五百二十レース

## 物價表(略)


旅館

和洋御料理一切

ポニータ街一一番

上地彌藏

郵函 一二二五

電話セントラル五七〇一

聖市コンデ街五十三

電話セントラル五八一九

廣島屋旅館

Rua Conde de Sarzedas, 53

Telephone Central, 5819

謹告

謹啓各位益々御清祥の段奉賀候陳れば小生儀今回々記の處に菓子店を開業仕り候間多少に拘はらず御用命の程伏して奉懇願候

婚禮、宴會、御祝ひ用菓子及びビスコイト、サンドウイッチ其他色々の御注文に應じ可申候

聖市コンデ・デ・サルゼーダス廿六番

緒方菓子店

電話——セントラル五三四八

◆開店廣告◆

修繕は

齊藤時計修繕所

ルア、コンデ、デ、サルゼーダス二十三番

コンデ、デ、サルゼーダス街五〇番

中山旅館

中山忠太郎

電話 セントラール 四五五九番

懇切町嚀

室內清潔

平田旅館

館主 平田崎太郎

サウルー市 ソロカバナ驛眞上

親切と便宜とを旨として營業仕り候

御旅館

松山三太郎

聖市カンタレイラ街九拾番

カンタレイラ驛前通りルス驛より七分間で達する所

綿種子着きました

此種子は州政府農務局消毒檢定濟特別上等シャンピン種子であります、御入用の御方は多少に拘らず御注文を乞ふ

カタンヅーバ市

氏原彦馬

◆大豆入用

今度『大豆』上値段にて買ひ受けます、すから御持ち合せの御方は左記へ御問ひ合せ願ひます

聖市コンデ街四六番

とうふ屋 富永とめ

伯國唯一の邦文農業雜誌

農家の友

(月刊一ヶ年分十五針 定價)

發行所 農事通信社

Largo S. Paulo, No. 1.. S. Paulo

徵集延期に關する告示

第一、明治三十六年十二月二日より同三十七年十二月一日迄に生れたる者及び今迄徵集延期中の者は大正十三年度徵集延期方及在留證明方を出願すべし但し本年十二月一日までに滿三十七歲に達する者は徵集延期願を差出すこと

第二、在留證明願の日付は大正十二年十二月一日以後のこと、但し右證明願は便宜本年十一月五日より之を受付く

第三、在留證明手數料は五ミルレースとす、但し本邦へ願書發送方希望の者は手數料の外書留郵送料八百「レース」(返信希望者は此分倘ほ貳百「レース」)合計八ミルレース、本人所在地へ回送方希望の者は貳百「レース」を加へ「コンヴァロール」「郵便爲替」若は銀行爲替にて送金すべし

第四、手數料、郵送料、返信料は成るべく願書と同封にて發送すべく金員又は爲替にて送付すること、但し以下の端數は郵便切手にて送付するも差支なし)

第五、本年十二月始めて證明願を差出す者に限り日本出發、伯國上陸年月日を左記の通り記入すること

日本出發 年月日(氏名 生年月日)

伯國上陸 年月日

第六、震災の結果郵便物の不着若くは延着の虞あるに付然に東京、橫濱方面に本籍を有する者は至急願書を差出すこと

第七、願書の宛名は左記の通り記入すること

在「サンパウロ」

總領事 齋藤 和殿

(サンパウロ總領事館へ提出の分)

在「リベロンプレート」

帝國總領事館分館主任

副領事 早尾季鷹殿

(リベロンプレート分館へ提出の分)

第八、在留證明に關し當館へ照會する場合は發信人の氏名、現住所の外本籍地をも詳記すること

第九、在留證明書を本人より直接本籍地へ送付の場合は必ず書留郵便を以てし其領收證は保存し置くこと(以上)

右告示す

大正十二年十月

在「サンパウロ」

帝國總領事館

Caixa Postal, 1167 S. Paulo

在「リベロンプレート」

帝國總領事館分館

Caixa Postal, 141 Ribeirão Preto

VENDEM-SE TERRAS NA L. NOROESTE

Superiores para cultura de Café e cereaes, criação de porcos etc., nas Fazendas São Joaquim e Mirandopolis

Propriedades de Senador Rodolpho Miranda e Deputado Luiz Miranda

ノロエステ線土地賣却

位置 ノロエステ線バクリーコトヴエロ、ルスサアンヴイラ、マシャード・デ・メーロの各驛を土地內に有し總面積五萬アルケーレス下は山脈地に到る低地三百米突より高地五百五十米突光地は貴族院議員ロドルフヲ・ミランダ氏及び令息衆議院議員ルイズ・ミランダ南氏の地にして地券確保證は一般有志家の證明する所です

地味 最良肥沃にして珈琲、證物樹、養豚、牧畜に適當なる地にてバウダアーリヨ、セボロン、シヤンガイダ、フイゲーラ等肥沃を證據立つる草木に覆はれ低地高地の御希望に應じます

地割 一區すアルケールを最少限度として幾千アルケーレスにても御望に應じ御視察の上御希望次第拂者實地に於て分割致します

視察 地代四方の一般御便宜取計ふ可く當市より自働車道あり土人代御視察あられ事を願ひます

支拂 高低の差に依つて價格一定せず初年入殖と同時に三分の一及び牛金殘額二、三ケ年據御思考に應じます

將來の發展 ノロエステ保線課にてアラサツーバ驛より山脈線に變更する設計ありて其變更線は本地內を通過し來マツトグロッソ州の進化と共に農產物の通過出に最も有望の地點です

本地は小生ロドルフヲ・ミランダ氏より測量費計分割其他道路一般土木事務引受け居れば職權上全般の責任を負ひます、御視察の上多少に拘らず御求めの程願上げます。御照會被下れば早速詳細說明測量濟の地圖同封にて御希望に依つて御送付申上ます

事務所 ノロエステ線アラサツーバ驛カイシヤ九一

土木技師 林田鎭雄

SHIZUO HAYASHIDA

Est. Araçatuba Caixa Postal 91 L. Noroeste

日本近信

## 世界文化の誇たるべき 帝都再建の輪廓

### 政治經濟の中心は西日比谷 自然と舊慣をも尊重

内務省の都市計畫課では既に九月七日第一回の打合せ會を開き首都再建についての方針を協議した、無論當面の急務は災害救助で災害帶が依然工業地として現出すべく復舊はその後の問題だからまだ具體的協議に入らず何れ其の協議に入れば各省關係の委員會や都市計畫委員にも附議し更に諸會の力をもかり出來るだけ尊重する上に世界文明都市の精粹を實現し得るものと官邊の總てに期待されてゐる

**本郷** 神田が依然教育地域たり文化の中心たるは變化なかるべきが要するに首都の再建は自然と舊慣を尊重する上に世界文明都市の大部分が焦土と化した事は無論大不幸に相違ないがそれだけ再建には自由であり從つて理想的に行はれ移轉や砲兵工場の郊外移轉も自然解決の機會を得たといふてよく、しかして河川交通便利なる隅田川對岸地域たり

**ソレ** 地震だといふ間もなく落て來た壁にしたゝか胸を打たれ乍ら昂奮した氣の勢でやつと大阪まで落延び病院に入るなり口もきけなくなつたのもある、中にも大澤太郎(三十)といふは神田大和町にゐたが町から町へ逃げまはり遂には上野公園で空腹に堪えかねて砂の中の小さい所を選んでそれを嚙み碎いて食つてゐたゝめ大阪病院に入るなり烈しい吐瀉を始め胃腸を甚しく害してゐる田内忠兵衛(七)は地震の第一日間違へられて頭部を群集から叩かれたのが動機となつて入院後も晝夜の別なく俺は立派な日本國民だぞと暴れ廻り東京から携へて來た竹の切つぱしを打振る騒ぎである、それでも看護婦が食事を持て行くとオッ救護隊が來た、俺だけこんな米の御飯を戴いてはすまねえといふ哀れさである病院では各患者も多少づゝ昂奮してゐるから成るべく鎮靜の狀態に置いて治療に鋭意しつゝある

**食盡された 日比谷の生物** 大事にして居た池のコヒはむろんのことアヒルもツルも金魚も猿公も皆罹災者の人たちがたべてしまひました よ胸まで水につかつてゐれ先にとつかまへる有樣はまつたく見てゐてぞつとしましたとは日比谷公園の事務員の話

**燒跡に食を探す** 奥さん嬢さん 横濱の罹災者は二日といふもの飲むに水なく食ふに食なく疲勞と困憊其極に達しながらも何かで命を繋がうと焦土と化した荒野原をウロつき硝り倉庫跡から黑焦となつた鑵詰などを探しては餓鬼のやうに叩きこはして食て居たそれが相當身分ある奥さんや令嬢までが恥も外聞もなくやつて居た

東京電報、北米通信

**地震博士の入院** 濠洲より歸朝せる地震學の泰斗大森房吉博士は十月六日腦部腫物の爲直ちに入院した

**震災と讀書傾向** 罹災後内地の出版刊行物は政治經濟及工學に關する書籍の賣行き多きも文藝物は全然駄目だと云ふ

**再建** 後の東京は世界の文明都市に於ける最善を採用實現する事が出來る見込で先づ住宅地と商業地及工業地が整然區劃さるゝ外防火交通保健の上から大道路大公園主義を全市街に採用することは云ふ迄もなく次で燒失した各官省は西日比谷の新議會附近に集中して東京驛西北面のオフイス街と共に

**政治** 經濟の中心となり從つて新橋より日本橋を經て萬世橋驛に達する中央市街が大商業區域となるは自然の形勢であらう而して取引市場卸賣市場　魚肉市場がその外廓に三角中心をなし發芽米穀と物資並に生活必要品の集散地となりそれ〳〵經濟的及び商業的中心を形作るべく多年難解の問題であつた魚河岸の芝浦

## 燒失した主な建物

東京市内各區調査

東京市内に於て燒失せる主なる建物を各區に亘つて調査せるものを見るに殆んど大部分は烏有に歸した即ち

「淺草區」花屋敷、十二階、淺草區役所、中央劇場、天主教會、東京高等工業、宗吾神社、第一高等女學校、樂山堂病院、吉原遊廓、宮戸座、待乳山等

「下谷區」下谷神社、天理教、市村座、上野驛、東京護謨運輸事務所、鐵道學校、下谷電話交換局等

「本所區」三圍神社、回向院、關村酒、安田邸、本所區役所、第三中學其他凡て

「深川區」商船學校、水産講習所、心行寺、鹿島邸、淺野セメント工場其他凡て

「日本橋區」兩國公園、日本橋倶樂部、區役所、株式取引所、第一銀行、村井銀行、中央電信局、三越吳服店其他

「麹町區」高田廻會、中央電話局、會計檢査院、鐵道省、興業銀行、大藏省、中央氣象臺、文部省、朝倉病院、井伊邸、東郷元帥邸、山縣公邸、麹町區役所、西班牙公使館、在横川邸、鍋島邸、外務省、伊太利大使館、露國大使館、日比谷大神宮、有樂座、帝國劇場、警視廳、國學院大學等

「神田區」ニコライ會堂、明治大學、中央大學、商科大學、外國語學校、順天中學、東京中學、歯科醫學校、神田青年會館等

「小石川區」砲兵工廠、砲兵工科學校、三井邸

「京橋區」海軍經理學校、水交社、遞信省、第十五銀行、西本願寺別院、瑞西公使館、歌舞伎座、新富座、農商務省、精養軒など

「芝區」一政友會本部、驛郵驛、慈善病院、和國公使館、米國大使館、東伏見宮邸、高輪御所

## 震災哀話

### 知らずに逃げた 背中の火

砂を食つてゐた人

大阪醫大病院に收容された避難民中の病人廿餘名は何れも新館階下の大病室に枕を並べて楠本、和田兩博士指揮の下に醫員達が大車輪であるが三十歳を一つ二つ許り過ぎた位のお内儀さんらしい女が自分の背中に火の付いたことも知らずと走つて逃げた爲背に盆大の火傷を負ふて呻り乍ら寢てゐるのがあると思へば


▼最新式米國型洋服▼叮嚀迅速廉價調製▲

**矢部洋服店**

聖市 ジョゼー・ボニファシオ街十一番A二階第三號室 電話 セントラール 三…四…三…四番

芳香美味

**あまのり**

聖市 ルアダモツカ二六 製造販賣 柳澤竹十郎

ナシヨナル クワリダーデ エスペシヤル バラット

T. YANAGISAWA Rua da Mooca, 26...S. Paulo

**金持になりたければ FAZENDAS DO CAMBUHY へ**

——又とない新珈琲請負の好機を失すへからず——

當耕地には六年間契約請負として未だ三千萬本の珈琲があります依つて希望者は此際至急申込をして下さい、但し請負申込をする前に先づ一度當耕地に遊び、皆日本人諸君の勢力下にあるフロリダ、カリフオルニア、ビルジニア、アリゾナ、コレゴ・フンド等の諸耕地を實地に視察する要があります、之等の諸耕地を訪問し直接同地の同胞諸氏の實話を聽いてから請負申込をなすつて下さい、カンブイでは日本人は皆お金持になります、機會が大事です此好機を失つてはなりません

FAZENDAS DO CAMBUHY Linha Araraquarense — Estação de Mattão

**YAMA-K. SHOKAI**

*Ship-chandlers*

Telephone Central, 1973

Rua Martim Affonso, 41

SANTOS

大阪商船會社 日本郵船會社御用達

各纜船食糧賣込業

並に農産物仲買業、生、干、鹽魚卸販賣

**K合資商會**

小淵 前田 合同經營

南米サントス市 マルチンアフオンソ街四一番 電話セントラール一九七三番

◆新種物專問

野菜物類、花物類、カチングエロ、ジヤラグア、ローデス等カピン類、アルフアツフア、玉葱、小鳥用餌種子、果樹苗、噴霧器等專問販賣

……カタログ御申越次第無代進呈……

"CASA DAS SEMENTES" CARLOS CORRADINI & CIA. Rua S. Caetano, 42 S. Paulo

◆當店は當市唯一の種子物專問店◆

聖州衛生局試驗奏効確證濟

**天下の三大妙藥**

錠劑 ANTI GRIPPAES "MAURO" 感冒、リヨウマチス、神經痛等諸症に特効保證、服藥後數分時にして頭痛、耳の痛み、齒痛等を鎮靜す。

錠劑 ANTI PALUDICOS "MAURO" マレイタ、間歇熱、濕地熱等各種熱病に用ゐて全治百發百中、特にマラリアに對しては學術的、迅速根治法又經濟的療法として推奨さる、全治者よりの奏効禮狀山の如し。

錠劑 HEMATICOS "MAURO" 貧血症及び貧血に基く諸病を根治す本藥は補血筋肉を强壯ならしめ氣力を旺盛にする强壯劑中の王なり、使用法は容易に効能は確實。

DEPOSITARIOS GERAES: MAURO, ZICCARDI & CIA. Rua Victoria, No. 35 São Paulo

Vendem-se em todas as boas pharmacias

日本圖書賣藥一切 化粧品 小間物 反物雜貨 食料品 鑵詰各種 新古袋

▶大勉强卸賣小賣◀

サンパウロ市ルア・コンデ・デ・サルゼーダス六十九番 電話セントラール六一三六番

**中矢商店 K.NAKAYA**

Rua C. de Sarzedas, 69 S. Paulo

**日本貿易株式會社**

聖市出張所 Rua Quintino Bocayuva, 80 Caixa, 1714 Tel. Cent. 3449 São Paulo

リオ支店 Rua Candelaria, 81 Caixa Postal, 1246 Rio de Janeiro

**FUJISAKI & COMP.**

日本各種品

**藤崎商會**

東京本店 赤坂區溜池町卅三 本店 リオ、デ、ジヤネイロ 支店 ベルナンブーコ

サンパウロ支店 Rua S. Bento No. 68-A Tel. Cent. 2788—Caixa, 344 S. PAULO

創作

# 伯剌西爾夜話（下）

生

或晩恰度晩餐を終えて、部屋でもれ つたい樣な彼の女の返事や、それからそれへと空想に耽つてゐた私の耳を叩いた者がある、振り返つて驚仰した、南無三終つた、六づかしい顔のペードロ爺さんに發覺したら、それも未だ修學中の唯つた十三のジョゼファに、あんな事を書いて終つては、……でも爺さんの顔はいつもなくニコ〳〵だ、懷から彼の手紙を出して。

『お前は此の手紙をジョゼファにやつたのかい？』爺さんの顔色に完く落ち着いた私は、元氣よく。

『そうです、私がやつたに違ひありません。』爺さんは相變らずニコ〳〵で點頭いた樣にして歸つて行つた。所が私は、永い車待たされるのが辛かつた。彼の女は未だ修學中だつたのでナモラーダ丈けは許されたものの結婚する年ちやないと、辛棒しても、辛棒しても學校を止しません、私はもう、駄目だ、駄目だと怒つては、八つ當りしてゐました、半年も待つたので、もう私の心は彼の女から隔てられやうとする、瀕際に立つて迷つてゐました、それはカルロスの親だ。

爺さんの末つ娘のマリアが蠱んに私を誘つたからでした。

併し、私はほんとに、ジョゼファが戀しかつたので、決心して、サンパ ウロに出て、ガレイタ街で、大枚十五圓出して、金の指輪を求めて來ました、その夜、ペードロ爺さんの家を訪ねて、彼の女の居たのに安心しました、衣裳の中でしつかり彼品を掴んでゐる手は汗ばむ程熱してゐるのに、わざと落着いた振、心の中では柔かい彼のくすり指にさしてやる時の接觸を、……

『ジョゼファは？私は彼の女に、許婚指輪を贈ります、呼んで下さい。』思ひ切つて、斯ふ叫ぶ樣に言ひ放つて、私の傍に坐を占めた彼の女を正面に見る事も出來ず夢中で彼の指輪を出して、彼の女の指にさしてやつた、三つの手が觸れた刹那怪しい程震えてゐました。そして、頭到學校も止させてしまつて、カザーしました。お藍で妻は手紙も書けません、讀む事は達者で、今でも自分の子供に素讀してやつてゐます。

あゝもう、あの長男も十六になりました、廿年近い、夫婦の生活を結けて來ました。そう言つて赤水喰をすつた、ジョアンはもう五六人の兒の親だ。

憧れる樣な退嬰から、ビンガの香から、寒い現實に返つて、赤『あゝ寒い。』

時報歌壇

## 苦き惱み

福壽生

若き日の惱みも忘れ草深き
この山奥に住める淋しさ
戀も慾も忘れて專心畑打つ
われは小さき農夫なるかな
庭先にほろ〳〵となく蟋蟀の
聲を聞きつゝ君思ふ宵
放浪の子は今日もまたふるさとの
母慕ひつゝ夕陽見て居り
なつかしのふるさと夢み目覺れば
草の花に月影の洩る

小說

# 奴隷の娘（八六）

ベルナルド・ギマラエス作 杉山帆影譯

アルバロの如き高潔な青年、非常に氣高い光輝ある天京の青年の愛の對照を思つては、愈々彼女自らの考へた事を益々確信するのだつた。

怜悧な敏感なその天性から、青年が彼女にさゝぐる愛情は、彼女の美しさや才能やに心を奪はれた單純な表面的な敬意でもなく、と云つて若き人の一時的出來心からでも無論ない、然し誠實な、力强い、底深い眞實な戀の惱みと云ふことを間もなく信ずるに至つた。それが彼女自らの眼の前に自らを高めて見る心の底の誇さなり、そして時には女奴隷だつた、と云ふ事さへも忘れさせるのであつた。

『姜はアルバロの愛人として相當してゐるものに違ひない、でなければの返辭を氣にかけて待ちながら、庭彼が姜を愛する筈がない、そしてもの花壇の間を何の氣なしに歩いてゐるしぶが彼の愛人として至當なものだ。としたら、どうして一番立派な社交界に現はれまいとするのだらう？いくら人間が邪惡な者だつて、萬一にも造物主の作つた善い事、美しい事を破壞する事が出來るだらうか？』

イサウラはかう思つてゐた、そしてかうした考と父戀人のそばに、云ひも得ぬ幸福さの幾時間を過すと云ふ望をもつた魅力とに與奪して、行かなきやならない、舞踊會へ行かなければならない！と心の中で叫ぶのだつた。

イサウラが默つて手を顏に當て、しつかりと決心をしやうとつとめて思ひに耽つてゐる間に、彼女に劣らず落着かずそは〳〵と氣をいらつてゐる父親は、娘のしつかりした決心なりさうな氣がするんだよ。』

『巻りませう、お父さん巻りませう舞踊會へ』

と彼女はさう〳〵立ち上りながらかう云つた。

『けれど姜は彼の人の爲に、讃美歌や花の間を、犧牲になる爲につれて行かなければならない犧牲者として覺悟しませう。姜は切ないかう何か虫が知らすやうな……それが姜を壓しつけるんです……。』

『虫が知らすつてどんなさ、イサウラ……？』

『何とも云へないんです、お父さま何かしらかう悲しい事なんです。』

『所が乃公にはなイサウラ、此の舞踊會へ行くのが、乃公等を救ふ事になりさうな氣がするんだよ。』

綺麗で、迅速で、丁寧で有名な
石村洋服洗濯所
電話セントラル 壹貳參四
Rua dos Imigrantes 1332

ADUBOS FORTUNA
J. B. DUARTE
Usinas de Productos Chimicos de Cubatão
Rua Boa Vista, 21—S. Paulo

肥料

▲Adubos Fortuna（肥料）

當店では各種の耕作肥料を製造します。殊に、ジヤガ芋の塊根を充分に發達させ、收穫を殖やす特別調合肥料を販賣します。

▲Adubos Fortuna の効力は植へ易へに。▲C印珈琲園に。▲CR印珈琲樹の米作に。▲AR印米園に土と交へて。▲AR印瓜、水瓜等蔓屬植物及び苺、セボーラ類、トマト、ピメンタ類に。▲CP印珈琲園の間作に。▲CV老珈琲樹に。▲CA印カンナ耕作に。▲M印ミリョ耕作に。▲A印各種果樹に。▲J印花園に數日前に土を交いて。▲AL印綿耕作に。▲B印ジヤガ芋類に▲Benzo-Creol（消毒藥）▲カラバート類▲痢病▲ベルチ▲ビシェイラ▲ソリエイラ▲虱等を退治するに妙。

J. B. DUARTE
Rua da Boa Vista, No 21 S. Paulo

宛に需文者しくは日本文で御問ひ合はせ下さい。

ジオタ・ペ・ドウアルテ商會
聖市ボアビスタ街二十一番

滿洲大連遼東新報主筆 難波勝治著
南米富源大觀
附南阿巡覽日記

四六判四百十五頁
（美麗寫眞入）
表紙墨洋布製
定價參圓五拾錢
送料六十錢

同書は著者が昨年一月より六月迄約半歲『リオ』『サンパウロ』兩市聖州、『ミナス』『ゴヤス』『マトグロッソ』及び『パラナ』諸州を視察したる際、各地に於ける邦人の發展狀態並に南部伯國の富源とを詳細に調査し歸社後編纂せるものなり

今回同氏の依頼に基き御申込數、電報注文可致候間、御希望の方は左件御一讀の上、御申込被下度候

（一）姓名、住所（驛名、耕地名若くは郵便局名）等御明記の事
（二）賣價貳拾五ミルレース也（運賃送料『書留』當方持の事）
（三）申込期限本年十一月末日限り
（四）御送金は左記宛、價格表記若くは爲替の事

Y. SAKAMOTO
Caixa Postal, 290 Rileirão Preto

（五）御手許に着本は來年一月末若くは二月初旬頃の事（勝手ながら同一地在住の方々は一纏めにして御注文願ひ度き事）

大正十二年十月二十二日 リベロン・プレート市
坂元靖

HATIRO MYAZAKI
ENCARREGADO DA AGENCIA GERAL DA EMPREZA PAULISTA DE COLONIZAÇÃO, LTDA. EM RIO PRETO

珈琲地帶

ノロエステ鐵道沿線に於ける第一、第二線の土地は既に賣り盡されて最早第三線に入つて居ります然るに此度私が九ヶ年間植民事業にたづさはつて得た經驗に依て賣り出します『パウリスタ植民會社』の土地は第一及び第二線のアラサツーバ、ビリグ井二驛に存在する地權確實なる絶對健康地の左記の二ヶ所であります。

◆バグアス耕地（アラサツーバ驛）

政府事業として交通省より大藏省へ向けアラサツーバ以西イタプーラ驛に至る鐵道の變更は既に明年度の豫算として提案せられた事に依つて最も其の實現の明かである此の山脈鐵道線の兩側地質良好五百米突乃至五百七拾米突の高さのアラサツーバ驛より自働車道路に依り拾八キロメートル内外の距離にある廣大なる土地。

◆ジャンガーダ耕地（ビリグ井驛）

四百家族の同胞植民地を二キロメートル手前に控へて、ビリグ井驛より南に自働車道路に依り廿四キロメートルの地點にあるノロエステ鐵道のリオフェイユ——チエテ大分水嶺の高さ五百米突以上の絶好の珈琲園地帶『エスピゴン』の部分千五百アルケーレス。

▲以上は何れも年賦拂にて契約します、尚は御視察案内又は詳細は從前の通り『サンパウロ土地木材植民會社』事務所宛に御願ひします。

パウリスタ植民會社 代理人 宮崎八郎
Est. Birigüy Linha Noroeste

新荷到着

當店特製 ブロック（書簡用箋）
土佐本場上等鰹節
清掃の効果最も優秀なる
ライオン齒磨粉
良く効く血の道くすり
中將湯 外に有名賣藥澤山
銘酒正宗 富く娘
蜂印 葡萄酒
他に線香、三味線糸、化粧品、鉋、寒天、とき櫛、すき、髮油、大工道具類

共同特別御購入割引

噴霧器、ベルデバリス各國製各種
アセニコ・ブランコ、アセタードシュンボ、硫黄
蟻殺器、フヲルミシーダ、生石灰
硫酸銅、針金等、大人及小供帽子
◇目錄定價表御申越次第送呈仕候◇

◇農産物仲買及委托
◇神田醬油取次店
瀬木商店
Y. SEGUI
ルア・コンデ・デ・サルゼーダス四十九番
Caixa, 1771—Tel. Cent. 3836—S. Paulo

# 母國大震災義捐金寄附者芳名並に金額（第九回）

（受付順）

●ドラデンセ線ノウバエゥロッパ驛朝日植民地
金一コント五百
金三百ミル　下江僚太郎
同　中西貞六
金二百ミル　渡辺良助
同　武田駒吉
同　丹野善太郎
同　高山鹽下勝次郎
同　牧隆秀
同　奥廣吉
金百五十ミル　今西啓太郎
同　中川豐
同　波山口源九郎
同　丹芳吉
同　岸治郎
同　浅野止一
同　手島卯二郎
同　船山信一
同　太田治郎
同　杉岩吉
同　村井逸
同　中間作
同　緒方寅
同　倉富辨
同　山口春
同　杉野榮
同　追田治
同　石橋作
金百ミル　遠藤吉
同　藤浅次郎
同　藤典治
金五十ミル　奥村見
同　波山武
同　野見菊
同　奥山秀
同　福橋作
同　高重雄
同　吉金藏
同　高休助
同　國橋雄
同　牛枝
同　治郎
同　林長
同　追治郎
金四十ミル　瀧口藤
同　瀧口藤
同　遠藤典
同　石橋浅次郎
金三十ミル　高倉千代藏
同　瀧口要一
同　無名氏
金二十ミル　平野菊次郎
同　久保治平
同　小角保
同　齋藤清六
同　荻尾源次郎
同　池田省治郎
金二十ミル　今佐々木二三
同　西泰
同　大坂本市郎
同　松平吉
同　竹岡橙一
同　本原春藏
同　東豐次郎
金十五ミル　西岡
同　坂本市郎
金五十ミル　Sr. Severino Canato
金二百ミル　Sr. Francisco Luiz
●ブレジョン植民地
金二百ミル　井手磯太郎
金七十ミル　原木竹
金六十ミル　東青作
金五十ミル　初村之吉
同　青木佐六
同　高田傳次郎
同　中井造
同　田手十造
金三十ミル　種三郎
同　青木藤太郎
同　久谷健之助
金二百ミル　Sra. Dorothy Lopes
●日本人小學校
金一ミル　宛　黒岩芳雄
同　齋藤唯四郎
同　三島聖爾
同　久谷萬里雄
同　士師政吏
同　伊藤洋
同　田村久代
同　綾部スミ子
同　森分正樹
同　士師雄
同　士師貞
同　中村ミド
同　藤岡博
同　幸子
同　坂戸ヒサエ
同　中野キヨ子
同　福田愛子
同　高木丸林忠雄
同　井和夫
同　高橋三滿子
同　牧近藤
同　久延福
同　谷田喜勝
同　健男
同　茂
同　志波加
同　波納
同　茂
同　正男
同　福田米
同　定雄
同　倉吉
同　靜
同　下小永
同　牧木平
同　三男
●グラ、クアラ線イナジョウジンヤ驛イビラ
金百ミル　七
同　糸山
同　永
同　平作
●パウリスタ線グリヤナイス驛
金五十ミル　井上
同　松一
●アラ、クアラ線カメンゲーバ驛
金三十ミル　高瀬
同　沙一
●アラ、クアラ線イナ地
金百ミル　森
同　石光久
同　井建吉
同　筒井芳馬
●同線同驛
金五十ミル　西山清次
同　西山
同　中美代三郎
同　竹中
同　河尼藤太藏
同　田源
同　古二
同　岡林重
同　山本安太郎
同　小野芳藏
●同線ソーボオリヴンヤ驛リオモルト耕地
金五十ミル　繁
同　富
同　緒方寅
同　中間作
同　山本寅
同　川村
同　岩井
同　杉山
同　野
同　波
同　丹
同　淺
同　手
同　船
同　太
同　岸
同　中
同　今
同　奥
同　牧
同　高
同　山
同　丹
同　渡
同　中
同　高
同　久
同　平
同　小
同　齋
同　荻
同　池
同　田
同　今
同　西
同　佐
同　大
同　松
同　竹
同　原
同　本
同　坂
同　平
同　竹
同　高
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　石
同　橋
同　淺
同　藤
同　典
同　作
同　治
同　追
同　林
同　長
同　治
金四十ミル　遠
同　藤
同　典
同　石
同　橋
同　淺
同　次
同　藤
同　典
同　作
同　治
金三十ミル　高
同　倉
同　千
同　代
同　名
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　氏
同　藏
金二十ミル　平野
同　菊
同　次
同　平
同　郎
同　小
同　保
同　治
同　角
同　小
同　一
同　平
同　郎
同　久
同　平
同　野
同　次
同　郎
同　氏
同　藏
金二十ミル　齋
同　藤
同　清
同　六
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　池
同　田
同　省
同　治
同　郎
同　今
同　佐
同　々
同　木
同　二
同　西
同　泰
同　三
同　二
同　池
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　田
同　省
同　治
同　郎
金十五ミル　松
同　大
同　本
同　東
同　豐
同　次
同　郎
同　春
同　藏
同　竹
同　平
同　坂
同　本
同　市
同　多
同　吉
同　岡
同　郎
金五十ミル　Sr. Severino Canato
金二百ミル　Sr. Francisco Luiz
●ブレジョン植民地
金二百ミル　執行傳吉
金七十ミル　原木竹
金六十ミル　東青作
金五十ミル　初村之吉
同　青木佐六
同　高田傳次郎
同　中井造
同　田手十造
金三十ミル　種三郎
同　青木藤太郎
同　久谷健之助
金二百ミル　Sra. Dorothy Lopes
●日本人小學校
金一ミル　宛　黒岩芳雄
同　齋藤唯四郎
同　三島聖爾
同　久谷萬里雄
同　士師政吏
同　伊藤洋
同　田村久代
同　綾部スミ子
同　森分正樹
同　士師雄
同　士師貞
同　中村ミド
同　藤岡博
同　幸子
同　坂戸ヒサエ
同　中野キヨ子
同　福田愛子
同　高木丸林忠雄
同　井和夫
同　高橋三滿子
同　牧近藤
同　久延福
同　谷田喜勝
同　健男
同　茂
同　志波加
同　波納
同　茂
同　正男
同　福田米
同　定雄
同　倉吉
同　靜
同　下小永
同　牧木平
同　三男
●グラ、クアラ線イナジョウジンヤ驛イビラ
金百ミル　七
同　糸山
同　永
同　平作
●パウリスタ線グリヤナイス驛
金五十ミル　井上
同　松一
●アラ、クアラ線カメンゲーバ驛
金三十ミル　高瀬
同　沙一
●アラ、クアラ線イナ地
金百ミル　森
同　石光久
同　井建吉
同　筒井芳馬
●同線同驛
金五十ミル　西山清次
同　西山
同　中美代三郎
同　竹中
同　河尼藤太藏
同　田源
同　古二
同　岡林重
同　山本安太郎
同　小野芳藏
●同線ソーボオリヴンヤ驛リオモルト耕地
金五十ミル　繁
同　富
同　緒方寅
同　中間作
同　山本寅
同　川村
同　岩井
同　杉山
同　野
同　波
同　丹
同　淺
同　手
同　船
同　太
同　岸
同　中
同　今
同　奥
同　牧
同　高
同　山
同　丹
同　渡
同　中
同　高
同　久
同　平
同　小
同　齋
同　荻
同　池
同　田
同　今
同　西
同　佐
同　大
同　松
同　竹
同　原
同　本
同　坂
同　平
同　竹
同　高
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　石
同　橋
同　淺
同　藤
同　典
同　作
同　治
同　追
同　林
同　長
同　治
金四十ミル　遠
同　藤
同　典
同　石
同　橋
同　淺
同　次
同　藤
同　典
同　作
同　治
金三十ミル　高
同　倉
同　千
同　代
同　名
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　氏
同　藏
金二十ミル　平野
同　菊
同　次
同　平
同　郎
同　小
同　保
同　治
同　角
同　小
同　一
同　平
同　郎
同　久
同　平
同　野
同　次
同　郎
同　氏
同　藏
金二十ミル　齋
同　藤
同　清
同　六
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　池
同　田
同　省
同　治
同　郎
同　今
同　佐
同　々
同　木
同　二
同　西
同　泰
同　三
同　二
同　池
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　田
同　省
同　治
同　郎
金十五ミル　松
同　大
同　本
同　東
同　豐
同　次
同　郎
同　春
同　藏
同　竹
同　平
同　坂
同　本
同　市
同　多
同　吉
同　岡
同　郎
金五十ミル　Sr. Severino Canato
金二百ミル　Sr. Francisco Luiz
●ブレジョン植民地
金二百ミル　井手磯太郎
金七十ミル　原木竹
金六十ミル　東青作
金五十ミル　初村之吉
同　青木佐六
同　高田傳次郎
同　中井造
同　田手十造
金三十ミル　種三郎
同　青木藤太郎
同　久谷健之助
金二百ミル　Sra. Dorothy Lopes
●日本人小學校
金一ミル　宛　黒岩芳雄
同　齋藤唯四郎
同　三島聖爾
同　久谷萬里雄
同　士師政吏
同　伊藤洋
同　田村久代
同　綾部スミ子
同　森分正樹
同　士師雄
同　士師貞
同　中村ミド
同　藤岡博
同　幸子
同　坂戸ヒサエ
同　中野キヨ子
同　福田愛子
同　高木丸林忠雄
同　井和夫
同　高橋三滿子
同　牧近藤
同　久延福
同　谷田喜勝
同　健男
同　茂
同　志波加
同　波納
同　茂
同　正男
同　福田米
同　定雄
同　倉吉
同　靜
同　下小永
同　牧木平
同　三男
●グラ、クアラ線イナジョウジンヤ驛イビラ
金百ミル　七
同　糸山
同　永
同　平作
●パウリスタ線グリヤナイス驛
金五十ミル　井上
同　松一
●アラ、クアラ線カメンゲーバ驛
金三十ミル　高瀬
同　沙一
●アラ、クアラ線イナ地
金百ミル　森
同　石光久
同　井建吉
同　筒井芳馬
●同線同驛
金五十ミル　西山清次
同　西山
同　中美代三郎
同　竹中
同　河尼藤太藏
同　田源
同　古二
同　岡林重
同　山本安太郎
同　小野芳藏
●同線ソーボオリヴンヤ驛リオモルト耕地
金五十ミル　繁
同　富
同　緒方寅
同　中間作
同　山本寅
同　川村
同　岩井
同　杉山
同　野
同　波
同　丹
同　淺
同　手
同　船
同　太
同　岸
同　中
同　今
同　奥
同　牧
同　高
同　山
同　丹
同　渡
同　中
同　高
同　久
同　平
同　小
同　齋
同　荻
同　池
同　田
同　今
同　西
同　佐
同　大
同　松
同　竹
同　原
同　本
同　坂
同　平
同　竹
同　高
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　石
同　橋
同　淺
同　藤
同　典
同　作
同　治
同　追
同　林
同　長
同　治
金三十ミル　遠
同　藤
同　典
同　石
同　橋
同　淺
同　次
同　藤
同　典
同　作
同　治
金二十ミル　高
同　倉
同　千
同　代
同　名
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　氏
同　藏
金十ミル　平野
同　菊
同　次
同　平
同　郎
同　小
同　保
同　治
同　角
同　小
同　一
同　平
同　郎
同　久
同　平
同　野
同　次
同　郎
同　氏
同　藏
金五十ミル　齋
同　藤
同　清
同　六
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　池
同　田
同　省
同　治
同　郎
同　今
同　佐
同　々
同　木
同　二
同　西
同　泰
同　三
同　二
同　池
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　田
同　省
同　治
同　郎
金十五ミル　松
同　大
同　本
同　東
同　豐
同　次
同　郎
同　春
同　藏
同　竹
同　平
同　坂
同　本
同　市
同　多
同　吉
同　岡
同　郎
金五十ミル　Sr. Severino Canato
金二百ミル　Sr. Francisco Luiz
●ブレジョン植民地
金二百ミル　井手磯太郎
金七十ミル　原木竹
金六十ミル　東青作
金五十ミル　初村之吉
同　青木佐六
同　高田傳次郎
同　中井造
同　田手十造
金三十ミル　種三郎
同　青木藤太郎
同　久谷健之助
金二百ミル　Sra. Dorothy Lopes
●日本人小學校
金一ミル　宛　黒岩芳雄
同　齋藤唯四郎
同　三島聖爾
同　久谷萬里雄
同　士師政吏
同　伊藤洋
同　田村久代
同　綾部スミ子
同　森分正樹
同　士師雄
同　士師貞
同　中村ミド
同　藤岡博
同　幸子
同　坂戸ヒサエ
同　中野キヨ子
同　福田愛子
同　高木丸林忠雄
同　井和夫
同　高橋三滿子
同　牧近藤
同　久延福
同　谷田喜勝
同　健男
同　茂
同　志波加
同　波納
同　茂
同　正男
同　福田米
同　定雄
同　倉吉
同　靜
同　下小永
同　牧木平
同　三男
●グラ、クアラ線イナジョウジンヤ驛イビラ
金百ミル　七
同　糸山
同　永
同　平作
●パウリスタ線グリヤナイス驛
金五十ミル　井上
同　松一
●アラ、クアラ線カメンゲーバ驛
金三十ミル　高瀬
同　沙一
●アラ、クアラ線イナ地
金百ミル　森
同　石光久
同　井建吉
同　筒井芳馬
●同線同驛
金五十ミル　西山清次
同　西山
同　中美代三郎
同　竹中
同　河尼藤太藏
同　田源
同　古二
同　岡林重
同　山本安太郎
同　小野芳藏
●同線ソーボオリヴンヤ驛リオモルト耕地
金五十ミル　繁
同　富
同　緒方寅
同　中間作
同　山本寅
同　川村
同　岩井
同　杉山
同　野
同　波
同　丹
同　淺
同　手
同　船
同　太
同　岸
同　中
同　今
同　奥
同　牧
同　高
同　山
同　丹
同　渡
同　中
同　高
同　久
同　平
同　小
同　齋
同　荻
同　池
同　田
同　今
同　西
同　佐
同　大
同　松
同　竹
同　原
同　本
同　坂
同　平
同　竹
同　高
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　石
同　橋
同　淺
同　藤
同　典
同　作
同　治
同　追
同　林
同　長
同　治
金四十ミル　遠
同　藤
同　典
同　石
同　橋
同　淺
同　次
同　藤
同　典
同　作
同　治
金三十ミル　高
同　倉
同　千
同　代
同　名
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　氏
同　藏
金二十ミル　平野
同　菊
同　次
同　平
同　郎
同　小
同　保
同　治
同　角
同　小
同　一
同　平
同　郎
同　久
同　平
同　野
同　次
同　郎
同　氏
同　藏
金十ミル　齋
同　藤
同　清
同　六
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　池
同　田
同　省
同　治
同　郎
同　今
同　佐
同　々
同　木
同　二
同　西
同　泰
同　三
同　二
同　池
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　田
同　省
同　治
同　郎
金五十ミル　松
同　大
同　本
同　東
同　豐
同　次
同　郎
同　春
同　藏
同　竹
同　平
同　坂
同　本
同　市
同　多
同　吉
同　岡
同　郎
金五十ミル　Sr. Severino Canato
金二百ミル　Sr. Francisco Luiz
●ブレジョン植民地
金二百ミル　井手磯太郎
金七十ミル　原木竹
金六十ミル　東青作
金五十ミル　初村之吉
同　青木佐六
同　高田傳次郎
同　中井造
同　田手十造
金三十ミル　種三郎
同　青木藤太郎
同　久谷健之助
金二百ミル　Sra. Dorothy Lopes
●日本人小學校
金一ミル　宛　黒岩芳雄
同　齋藤唯四郎
同　三島聖爾
同　久谷萬里雄
同　士師政吏
同　伊藤洋
同　田村久代
同　綾部スミ子
同　森分正樹
同　士師雄
同　士師貞
同　中村ミド
同　藤岡博
同　幸子
同　坂戸ヒサエ
同　中野キヨ子
同　福田愛子
同　高木丸林忠雄
同　井和夫
同　高橋三滿子
同　牧近藤
同　久延福
同　谷田喜勝
同　健男
同　茂
同　志波加
同　波納
同　茂
同　正男
同　福田米
同　定雄
同　倉吉
同　靜
同　下小永
同　牧木平
同　三男
●グラ、クアラ線イナジョウジンヤ驛イビラ
金百ミル　七
同　糸山
同　永
同　平作
●パウリスタ線グリヤナイス驛
金五十ミル　井上
同　松一
●アラ、クアラ線カメンゲーバ驛
金三十ミル　高瀬
同　沙一
●アラ、クアラ線イナ地
金百ミル　森
同　石光久
同　井建吉
同　筒井芳馬
●同線同驛
金五十ミル　西山清次
同　西山
同　中美代三郎
同　竹中
同　河尼藤太藏
同　田源
同　古二
同　岡林重
同　山本安太郎
同　小野芳藏
●同線ソーボオリヴンヤ驛リオモルト耕地
金五十ミル　繁
同　富
同　緒方寅
同　中間作
同　山本寅
同　川村
同　岩井
同　杉山
同　野
同　波
同　丹
同　淺
同　手
同　船
同　太
同　岸
同　中
同　今
同　奥
同　牧
同　高
同　山
同　丹
同　渡
同　中
同　高
同　久
同　平
同　小
同　齋
同　荻
同　池
同　田
同　今
同　西
同　佐
同　大
同　松
同　竹
同　原
同　本
同　坂
同　平
同　竹
同　高
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　石
同　橋
同　淺
同　藤
同　典
同　作
同　治
同　追
同　林
同　長
同　治
金五十ミル　遠
同　藤
同　典
同　石
同　橋
同　淺
同　次
同　藤
同　典
同　作
同　治
金二十ミル　高
同　倉
同　千
同　代
同　名
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　氏
同　藏
金十ミル　平野
同　菊
同　次
同　平
同　郎
同　小
同　保
同　治
同　角
同　小
同　一
同　平
同　郎
同　久
同　平
同　野
同　次
同　郎
同　氏
同　藏
金五十ミル　齋
同　藤
同　清
同　六
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　池
同　田
同　省
同　治
同　郎
同　今
同　佐
同　々
同　木
同　二
同　西
同　泰
同　三
同　二
同　池
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　田
同　省
同　治
同　郎
金十五ミル　松
同　大
同　本
同　東
同　豐
同　次
同　郎
同　春
同　藏
同　竹
同　平
同　坂
同　本
同　市
同　多
同　吉
同　岡
同　郎
金五十ミル　Sr. Severino Canato
金二百ミル　Sr. Francisco Luiz
●ブレジョン植民地
金二百ミル　井手磯太郎
金七十ミル　原木竹
金六十ミル　東青作
金五十ミル　初村之吉
同　青木佐六
同　高田傳次郎
同　中井造
同　田手十造
金三十ミル　種三郎
同　青木藤太郎
同　久谷健之助
金二百ミル　Sra. Dorothy Lopes
●日本人小學校
金一ミル　宛　黒岩芳雄
同　齋藤唯四郎
同　三島聖爾
同　久谷萬里雄
同　士師政吏
同　伊藤洋
同　田村久代
同　綾部スミ子
同　森分正樹
同　士師雄
同　士師貞
同　中村ミド
同　藤岡博
同　幸子
同　坂戸ヒサエ
同　中野キヨ子
同　福田愛子
同　高木丸林忠雄
同　井和夫
同　高橋三滿子
同　牧近藤
同　久延福
同　谷田喜勝
同　健男
同　茂
同　志波加
同　波納
同　茂
同　正男
同　福田米
同　定雄
同　倉吉
同　靜
同　下小永
同　牧木平
同　三男
●グラ、クアラ線イナジョウジンヤ驛イビラ
金百ミル　七
同　糸山
同　永
同　平作
●パウリスタ線グリヤナイス驛
金五十ミル　井上
同　松一
●アラ、クアラ線カメンゲーバ驛
金三十ミル　高瀬
同　沙一
●アラ、クアラ線イナ地
金百ミル　森
同　石光久
同　井建吉
同　筒井芳馬
●同線同驛
金五十ミル　西山清次
同　西山
同　中美代三郎
同　竹中
同　河尼藤太藏
同　田源
同　古二
同　岡林重
同　山本安太郎
同　小野芳藏
●同線ソーボオリヴンヤ驛リオモルト耕地
金五十ミル　繁
同　富
同　緒方寅
同　中間作
同　山本寅
同　川村
同　岩井
同　杉山
同　野
同　波
同　丹
同　淺
同　手
同　船
同　太
同　岸
同　中
同　今
同　奥
同　牧
同　高
同　山
同　丹
同　渡
同　中
同　高
同　久
同　平
同　小
同　齋
同　荻
同　池
同　田
同　今
同　西
同　佐
同　大
同　松
同　竹
同　原
同　本
同　坂
同　平
同　竹
同　高
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　石
同　橋
同　淺
同　藤
同　典
同　作
同　治
同　追
同　林
同　長
同　治
金四十ミル　遠
同　藤
同　典
同　石
同　橋
同　淺
同　次
同　藤
同　典
同　作
同　治
金三十ミル　高
同　倉
同　千
同　代
同　名
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　氏
同　藏
金二十ミル　平野
同　菊
同　次
同　平
同　郎
同　小
同　保
同　治
同　角
同　小
同　一
同　平
同　郎
同　久
同　平
同　野
同　次
同　郎
同　氏
同　藏
金十ミル　齋
同　藤
同　清
同　六
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　池
同　田
同　省
同　治
同　郎
同　今
同　佐
同　々
同　木
同　二
同　西
同　泰
同　三
同　二
同　池
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　田
同　省
同　治
同　郎
金五十ミル　松
同　大
同　本
同　東
同　豐
同　次
同　郎
同　春
同　藏
同　竹
同　平
同　坂
同　本
同　市
同　多
同　吉
同　岡
同　郎
金五十ミル　Sr. Severino Canato
金二百ミル　Sr. Francisco Luiz
●ブレジョン植民地
金二百ミル　井手磯太郎
金七十ミル　原木竹
金六十ミル　東青作
金五十ミル　初村之吉
同　青木佐六
同　高田傳次郎
同　中井造
同　田手十造
金三十ミル　種三郎
同　青木藤太郎
同　久谷健之助
金二百ミル　Sra. Dorothy Lopes
●日本人小學校
金一ミル　宛　黒岩芳雄
同　齋藤唯四郎
同　三島聖爾
同　久谷萬里雄
同　士師政吏
同　伊藤洋
同　田村久代
同　綾部スミ子
同　森分正樹
同　士師雄
同　士師貞
同　中村ミド
同　藤岡博
同　幸子
同　坂戸ヒサエ
同　中野キヨ子
同　福田愛子
同　高木丸林忠雄
同　井和夫
同　高橋三滿子
同　牧近藤
同　久延福
同　谷田喜勝
同　健男
同　茂
同　志波加
同　波納
同　茂
同　正男
同　福田米
同　定雄
同　倉吉
同　靜
同　下小永
同　牧木平
同　三男
●グラ、クアラ線イナジョウジンヤ驛イビラ
金百ミル　七
同　糸山
同　永
同　平作
●パウリスタ線グリヤナイス驛
金五十ミル　井上
同　松一
●アラ、クアラ線カメンゲーバ驛
金三十ミル　高瀬
同　沙一
●アラ、クアラ線イナ地
金百ミル　森
同　石光久
同　井建吉
同　筒井芳馬
●同線同驛
金五十ミル　西山清次
同　西山
同　中美代三郎
同　竹中
同　河尼藤太藏
同　田源
同　古二
同　岡林重
同　山本安太郎
同　小野芳藏
●同線ソーボオリヴンヤ驛リオモルト耕地
金五十ミル　繁
同　富
同　緒方寅
同　中間作
同　山本寅
同　川村
同　岩井
同　杉山
同　野
同　波
同　丹
同　淺
同　手
同　船
同　太
同　岸
同　中
同　今
同　奥
同　牧
同　高
同　山
同　丹
同　渡
同　中
同　高
同　久
同　平
同　小
同　齋
同　荻
同　池
同　田
同　今
同　西
同　佐
同　大
同　松
同　竹
同　原
同　本
同　坂
同　平
同　竹
同　高
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　石
同　橋
同　淺
同　藤
同　典
同　作
同　治
同　追
同　林
同　長
同　治
金三十ミル　遠
同　藤
同　典
同　石
同　橋
同　淺
同　次
同　藤
同　典
同　作
同　治
金二十ミル　高
同　倉
同　千
同　代
同　名
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　氏
同　藏
金十ミル　平野
同　菊
同　次
同　平
同　郎
同　小
同　保
同　治
同　角
同　小
同　一
同　平
同　郎
同　久
同　平
同　野
同　次
同　郎
同　氏
同　藏
金五十ミル　齋
同　藤
同　清
同　六
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　池
同　田
同　省
同　治
同　郎
同　今
同　佐
同　々
同　木
同　二
同　西
同　泰
同　三
同　二
同　池
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　田
同　省
同　治
同　郎
金十五ミル　松
同　大
同　本
同　東
同　豐
同　次
同　郎
同　春
同　藏
同　竹
同　平
同　坂
同　本
同　市
同　多
同　吉
同　岡
同　郎
金五十ミル　Sr. Severino Canato
金二百ミル　Sr. Francisco Luiz
●ブレジョン植民地
金二百ミル　井手磯太郎
金七十ミル　原木竹
金六十ミル　東青作
金五十ミル　初村之吉
同　青木佐六
同　高田傳次郎
同　中井造
同　田手十造
金三十ミル　種三郎
同　青木藤太郎
同　久谷健之助
金二百ミル　Sra. Dorothy Lopes
●日本人小學校
金一ミル　宛　黒岩芳雄
同　齋藤唯四郎
同　三島聖爾
同　久谷萬里雄
同　士師政吏
同　伊藤洋
同　田村久代
同　綾部スミ子
同　森分正樹
同　士師雄
同　士師貞
同　中村ミド
同　藤岡博
同　幸子
同　坂戸ヒサエ
同　中野キヨ子
同　福田愛子
同　高木丸林忠雄
同　井和夫
同　高橋三滿子
同　牧近藤
同　久延福
同　谷田喜勝
同　健男
同　茂
同　志波加
同　波納
同　茂
同　正男
同　福田米
同　定雄
同　倉吉
同　靜
同　下小永
同　牧木平
同　三男
●グラ、クアラ線イナジョウジンヤ驛イビラ
金百ミル　七
同　糸山
同　永
同　平作
●パウリスタ線グリヤナイス驛
金五十ミル　井上
同　松一
●アラ、クアラ線カメンゲーバ驛
金三十ミル　高瀬
同　沙一
●アラ、クアラ線イナ地
金百ミル　森
同　石光久
同　井建吉
同　筒井芳馬
●同線同驛
金五十ミル　西山清次
同　西山
同　中美代三郎
同　竹中
同　河尼藤太藏
同　田源
同　古二
同　岡林重
同　山本安太郎
同　小野芳藏
●同線ソーボオリヴンヤ驛リオモルト耕地
金五十ミル　繁
同　富
同　緒方寅
同　中間作
同　山本寅
同　川村
同　岩井
同　杉山
同　野
同　波
同　丹
同　淺
同　手
同　船
同　太
同　岸
同　中
同　今
同　奥
同　牧
同　高
同　山
同　丹
同　渡
同　中
同　高
同　久
同　平
同　小
同　齋
同　荻
同　池
同　田
同　今
同　西
同　佐
同　大
同　松
同　竹
同　原
同　本
同　坂
同　平
同　竹
同　高
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　石
同　橋
同　淺
同　藤
同　典
同　作
同　治
同　追
同　林
同　長
同　治
金二十ミル　遠
同　藤
同　典
同　石
同　橋
同　淺
同　次
同　藤
同　典
同　作
同　治
金十ミル　高
同　倉
同　千
同　代
同　名
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　氏
同　藏
金五十ミル　平野
同　菊
同　次
同　平
同　郎
同　小
同　保
同　治
同　角
同　小
同　一
同　平
同　郎
同　久
同　平
同　野
同　次
同　郎
同　氏
同　藏
金四十ミル　齋
同　藤
同　清
同　六
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　池
同　田
同　省
同　治
同　郎
同　今
同　佐
同　々
同　木
同　二
同　西
同　泰
同　三
同　二
同　池
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　田
同　省
同　治
同　郎
金三十ミル　松
同　大
同　本
同　東
同　豐
同　次
同　郎
同　春
同　藏
同　竹
同　平
同　坂
同　本
同　市
同　多
同　吉
同　岡
同　郎
金二十ミル　Sr. Severino Canato
金二百ミル　Sr. Francisco Luiz
●ブレジョン植民地
金二百ミル　井手磯太郎
金七十ミル　原木竹
金六十ミル　東青作
金五十ミル　初村之吉
同　青木佐六
同　高田傳次郎
同　中井造
同　田手十造
金三十ミル　種三郎
同　青木藤太郎
同　久谷健之助
金二百ミル　Sra. Dorothy Lopes
●日本人小學校
金一ミル　宛　黒岩芳雄
同　齋藤唯四郎
同　三島聖爾
同　久谷萬里雄
同　士師政吏
同　伊藤洋
同　田村久代
同　綾部スミ子
同　森分正樹
同　士師雄
同　士師貞
同　中村ミド
同　藤岡博
同　幸子
同　坂戸ヒサエ
同　中野キヨ子
同　福田愛子
同　高木丸林忠雄
同　井和夫
同　高橋三滿子
同　牧近藤
同　久延福
同　谷田喜勝
同　健男
同　茂
同　志波加
同　波納
同　茂
同　正男
同　福田米
同　定雄
同　倉吉
同　靜
同　下小永
同　牧木平
同　三男
●グラ、クアラ線イナジョウジンヤ驛イビラ
金百ミル　七
同　糸山
同　永
同　平作
●パウリスタ線グリヤナイス驛
金五十ミル　井上
同　松一
●アラ、クアラ線カメンゲーバ驛
金三十ミル　高瀬
同　沙一
●アラ、クアラ線イナ地
金百ミル　森
同　石光久
同　井建吉
同　筒井芳馬
●同線同驛
金五十ミル　西山清次
同　西山
同　中美代三郎
同　竹中
同　河尼藤太藏
同　田源
同　古二
同　岡林重
同　山本安太郎
同　小野芳藏
●同線ソーボオリヴンヤ驛リオモルト耕地
金五十ミル　繁
同　富
同　緒方寅
同　中間作
同　山本寅
同　川村
同　岩井
同　杉山
同　野
同　波
同　丹
同　淺
同　手
同　船
同　太
同　岸
同　中
同　今
同　奥
同　牧
同　高
同　山
同　丹
同　渡
同　中
同　高
同　久
同　平
同　小
同　齋
同　荻
同　池
同　田
同　今
同　西
同　佐
同　大
同　松
同　竹
同　原
同　本
同　坂
同　平
同　竹
同　高
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　石
同　橋
同　淺
同　藤
同　典
同　作
同　治
同　追
同　林
同　長
同　治
金五十ミル　遠
同　藤
同　典
同　石
同　橋
同　淺
同　次
同　藤
同　典
同　作
同　治
金二十ミル　高
同　倉
同　千
同　代
同　名
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　氏
同　藏
金十ミル　平野
同　菊
同　次
同　平
同　郎
同　小
同　保
同　治
同　角
同　小
同　一
同　平
同　郎
同　久
同　平
同　野
同　次
同　郎
同　氏
同　藏
金五十ミル　齋
同　藤
同　清
同　六
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　池
同　田
同　省
同　治
同　郎
同　今
同　佐
同　々
同　木
同　二
同　西
同　泰
同　三
同　二
同　池
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　田
同　省
同　治
同　郎
金十五ミル　松
同　大
同　本
同　東
同　豐
同　次
同　郎
同　春
同　藏
同　竹
同　平
同　坂
同　本
同　市
同　多
同　吉
同　岡
同　郎
金五十ミル　Sr. Severino Canato
金二百ミル　Sr. Francisco Luiz
●ブレジョン植民地
金二百ミル　井手磯太郎
金七十ミル　原木竹
金六十ミル　東青作
金五十ミル　初村之吉
同　青木佐六
同　高田傳次郎
同　中井造
同　田手十造
金三十ミル　種三郎
同　青木藤太郎
同　久谷健之助
金二百ミル　Sra. Dorothy Lopes
●日本人小學校
金一ミル　宛　黒岩芳雄
同　齋藤唯四郎
同　三島聖爾
同　久谷萬里雄
同　士師政吏
同　伊藤洋
同　田村久代
同　綾部スミ子
同　森分正樹
同　士師雄
同　士師貞
同　中村ミド
同　藤岡博
同　幸子
同　坂戸ヒサエ
同　中野キヨ子
同　福田愛子
同　高木丸林忠雄
同　井和夫
同　高橋三滿子
同　牧近藤
同　久延福
同　谷田喜勝
同　健男
同　茂
同　志波加
同　波納
同　茂
同　正男
同　福田米
同　定雄
同　倉吉
同　靜
同　下小永
同　牧木平
同　三男
●グラ、クアラ線イナジョウジンヤ驛イビラ
金百ミル　七
同　糸山
同　永
同　平作
●パウリスタ線グリヤナイス驛
金五十ミル　井上
同　松一
●アラ、クアラ線カメンゲーバ驛
金三十ミル　高瀬
同　沙一
●アラ、クアラ線イナ地
金百ミル　森
同　石光久
同　井建吉
同　筒井芳馬
●同線同驛
金五十ミル　西山清次
同　西山
同　中美代三郎
同　竹中
同　河尼藤太藏
同　田源
同　古二
同　岡林重
同　山本安太郎
同　小野芳藏
●同線ソーボオリヴンヤ驛リオモルト耕地
金五十ミル　繁
同　富
同　緒方寅
同　中間作
同　山本寅
同　川村
同　岩井
同　杉山
同　野
同　波
同　丹
同　淺
同　手
同　船
同　太
同　岸
同　中
同　今
同　奥
同　牧
同　高
同　山
同　丹
同　渡
同　中
同　高
同　久
同　平
同　小
同　齋
同　荻
同　池
同　田
同　今
同　西
同　佐
同　大
同　松
同　竹
同　原
同　本
同　坂
同　平
同　竹
同　高
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　石
同　橋
同　淺
同　藤
同　典
同　作
同　治
同　追
同　林
同　長
同　治
金十ミル　遠
同　藤
同　典
同　石
同　橋
同　淺
同　次
同　藤
同　典
同　作
同　治
金五十ミル　高
同　倉
同　千
同　代
同　名
同　藏
同　高
同　瀧
同　口
同　要
同　一
同　無
同　倉
同　千
同　代
同　氏
同　藏
金四十ミル　平野
同　菊
同　次
同　平
同　郎
同　小
同　保
同　治
同　角
同　小
同　一
同　平
同　郎
同　久
同　平
同　野
同　次
同　郎
同　氏
同　藏
金三十ミル　齋
同　藤
同　清
同　六
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　池
同　田
同　省
同　治
同　郎
同　今
同　佐
同　々
同　木
同　二
同　西
同　泰
同　三
同　二
同　池
同　荻
同　尾
同　源
同　次
同　郎
同　田
同　省
同　治
同　郎
金二十ミル　松
同　大
同　本
同　東
同　豐
同　次
同　郎
同　春
同　藏
同　竹
同　平
同　坂
同　本
同　市
同　多
同　吉
同　岡
同　郎
金十ミル　Sr. Severino Canato
金二百ミル　Sr. Francisco Luiz
●ブレジョン植民地
金二百ミル　井手磯太郎
金七十ミル　原木竹
金六十ミル　東青作
金五十ミル　初村之吉
同　青木佐六
同　高田傳次

●ノロエステ線クアイサラ驛 相馬速
金百五十ミル 齋藤和三
金五十ミル 齋藤清助
金三十五ミル 本村清一郎
同 木村字市
金三十五ミル 上野松太郎
2$000 Dr. Dourbur Ziccro
●同線同驛クアイサラ殖民地 篠田政吉
金二十ミル 同 篠寄常
同 渡邊濱藏
同 櫨田辰雄
金二十五ミル 高山要藏
同 田代義
金十ミル 吉永忠才
同 栗木吉平
金五十ミル 高山繁雄
同 河口喜平
金百ミル 井手平
●同線アロミッソン驛合青年會 ポン・スセッソ青年會
金一コント ビリグイジーニョ同 バアラ・マンサ同
ポン・スセッソ第二同 コレゴ・アズール同
カペセイラ・ゴンザカ同
●同線リンス驛マンドリン耕地 田上實
金二十ミル
●ソロカバナ線レンソーエス驛 味瀧藏
金二十ミル
●アララクアラ線カメングーバ驛ザイラエリッ 堀江藤吾
金八十ミル 上瀧千太郎
金七十ミル 安心院利吉
金五十ミル 太郎良友作
金三十五ミル 野口守光
金三十ミル 佐々木專藏
同 安西平
金百五十ミル 瀧內秀吉
同 瀧內兵太
同 米田良之助
金五十ミル 同 ユイノ
金百ミル 同 比富美
金五十ミル 松田千蜜次藏
同 前田代進
金三十ミル 藤記友吉
同 井一登
金二十五ミル 永藤重太郎
同 內藤正
金五十ミル 天野與吉
●アララクアラ線マツトン驛 大橋清
金五十ミル
●サンパウロ 森冬四郎
金百ミル 藤本佐剿
金五十ミル
●ゴヤス州カタロン驛ジョンバス耕地 須貝治右衛門
金五十ミル
●パルナンブコ州レシーフェ市 鈴木正雄
金二百ミル 同 木千つね
金五十ミル 同 同枝道太郎
金二十五ミル 同
●ノロエステ線リンス驛カンポストレ耕地 農田源行
金二百ミル 同 宮口次郎
金二十ミル 小堀常吉
同 谷口末太郎
金十ミル 山本由太郎
下文次宛 坂道宇太郎
金二十ミル 山本新藏
金三十ミル 峰加四郎
金五ミル 松井竹太郎
鍬田靜人郎

●セジアナ線サンジョアキン驛シャカラ 佐野京太郎
アンジリイナ 同 横井丈太郎
金五十ミル 大河內增次郎
同宛 宮本敎市
金十ミル 口中道肇廣
同 上村利一郎
金五ミル 小園太郎衛門
●ソロカバナ線グアドス驛
●サントアントーニョ耕地 有馬浚一
金二十ミル 同 出店度
●同線マンドリー驛メーリエオ 脇田英助
金百ミル 有川嶺益子
金二十ミル 同 福次郎
金二十ミル 屋恒基元
金五ミル宛 屋恒雄安
金二十ミル 清岩太郎
●マトグロッソ州コルンバ驛 T生
金二十ミル H生
●ソロカバナ線シャバンテス驛
金十ミル宛 堀田峰登
●サンタルシヤ耕地 大城牛眞榮里次郎
金十ミル宛 東仲興根武一郎
●ソロカバナ線サントアナスタシオ驛 廣塚熊太郎
金百ミル
●Est. Conquista Dr. F. M.
50$000 Dr. José Ferreira de Mendonça
●サントス市 持留岩吉
金二十ミル
●バウリスタ線マルチニョ耕地 長嶺龜
金二十ミル
●サンマルチニョ耕地 具志堅
金十ミル 島袋次郎 田場太郎
宛 島袋蒲 田場
金二十ミル 阿次富次郎
金二十ミル 高屋良
金二十ミル 東仲興根 眞佐
金二十ミル 川本樽城
金二十ミル 茂田蒲
●ソロカバナ線オリニョス驛 新城盛松 新城元助
金百ミル 島袋牛若
金五十ミル 金城牛
金二十ミル 小計
●同驛セリーニヤ耕地 谷キヨ子
金二十ミル 大島一郎
金五十ミル
●バウリスタ線バリーニヤ驛 馬場金治
金二十ミル 須山藏
金二十ミル 峯師仲治
金二十ミル 土宣丹藏
金五十ミル 森田久三
金二十ミル 遠藤一吉
金二十ミル 和智永藏
金二十ミル 金子英男
●モヤアナ線リベロンプレト驛サンベント耕地 尾坂ひさ 鳥山千代子
金百八十五ミル 雨夫人扱義捐金
雜出外人友の如し
100$000 Dr. José Alicandre
5$000 Dr. Aliudo de Paiva
10$000 Dra. Jegunda Nogueira
5$000 Dr. João da Silveira
" Dra. Coelho etc &.
" Dr. Fernandes Martins
20$000 Dr. Manoel Fco. Serra
1$500 Dr. Luiz Garvão
2$000 Dr. Antonio Prado
$400 Dr. Deolindo Oliveira
2$000 Dra. Hermínia Embosda
" Dr. J. Augusto Carneiro
" Dra. Elzila Andrade
1$000 Dra. Amalia Bia
" Dra. Lozia Milani
5$000 Dr. Igumecio Bellini
2$000 Dra Luzia Padulla
5$000 Dr. Anuni Paduma

1$000 Dra. Antonia Gomandine
2$000 Dr. Riverino Ampeiuo
3$000 Dr. Calil Darafeni
2$500 Dra Ilem Tozzal
●ノロエステ線アロミッソン驛 花石勝人
金二十ミル
●同線ソゲーラ驛コンコルヤア耕地 石原吉善
金一ミル宛 比嘉宇清 上原牛志伊良正秀
比久牛 田里友亮屋
上原松 當眞嗣全 金城次郎
●同線同驛アラリバ 端慶覽朝仁
金二十ミル 端慶覽龜
●同線同驛サンタマリア耕地 渡嘉敷直重
金十ミル
●同線ビイラユイ町 坂本重雄
金二十ミル
●同線パルミタル驛ポアビスタ耕地 福島清市
金十ミル
●ラ・クアラ線タクアリサンガ驛
金二十ミル
●サンタレーナ耕地 山下清市
金五十ミル
●モヤアナ線ベドレグリョ驛バゲアス耕地 中川利太郎
金五十ミル
●ソロカバナ線アバレー驛ペラピスタ耕地 垣本良平
金二十ミル
●サンパウロ市 Dr. Paulo Domingos
5$000 Dra. Flora Gelue
金百一ミル 高尾る
金五十ミル 立澤玉五郎
金二十ミル
●聖市外セニエイロ、シチオ、ポアビスタ 細野八藏
金二十ミル
金三十ミル 田中忠吾
●モヤアナ線セルケラセーザル驛
金五十ミル
●アバアバランカ耕地 宮內政豐治猪郎
金五十ミル 倉內豐治
金十ミル 上田
金五十ミル 石坂愛治藏
金五十ミル 石本福七郎
金五十ミル 倉內伊之助
金五十ミル 西野仁八郎
金五十ミル 爲澤與三五郎
金五十ミル 加世田盛熊郎
金五十ミル 渡部德次郎
金二十ミル
●同線アルバレスマシナー驛 郡山景安
金二十五ミル
●アラクアラ線イバラ驛ジロビヂス耕地 島龜吉
金百ミル 川野瀨駒藏
金二十五ミル 秋吉木悅吾
●ソロカバナ線オカリニョス驛 中島福馬郎
金二十ミル
同
●モヤアナ線セラアズール驛 橋本彌七郎
金百ミル
●サンタイフ耕地在留者 香坂千代松
金百ミル 鶴田喜太郎
金六十ミル 平城藏
金五十ミル 平間力
同 秋田太郎
同 賀正
同 栗田鍋
金六十ミル 平秋市
金五十ミル 秋田元榮一郎
●同線セラナ驛ベドラ耕地在留者 中島清五郎
金百ミル 小赤嶺健吉
金五十ミル
●サンパウロゴヤス線テーロ驛 堀ノ內秀範
●ボルトフリス耕地
金百ミル

金七十ミル 同 星弘
金六十ミル 同 子中
金五十ミル 同 常太郎
同 太勇
金四十ミル 同 村野木宇一郎
金三十ミル 水川百藏
金五ミル 尾賀祐光
金三十ミル 渕牛直藏
金五ミル 菅沼末吉
金四十ミル 中邑勇
金二十ミル 山岸繁藏
金二十五ミル 山田朋彥
同 井上二馬
金五ミル 須具與三郎
金二十ミル 山內欣吾
金十ミル 同 田留作
同 同
金二十五ミル Dr. Felicio Tarelbay
金十ミル Dr. José Caputt
同 Dr. Domingo Minto
Dr. José Asaf
●Rio Grande do Sul
100$000 Dr. Eduardo Ferreira
5$000 Dr. José Caputt
" Dr. Domingo Minto
Dr. José Asaf
●Rio Grande do Sul
54$000 Dr. Ulysses Mocidade da
●Rio Grande do Sul
Dr. Ulysses Mocidade da Ia. Egreja Baptista
金二十ミル 木村信次郎
金十ミル 吉川九十次郎
金五十ミル 平田英貴
金二十ミル 湖野滋
金五十ミル 輪出延
金二十ミル 平野平八
金五十ミル 吉川十
金三十ミル 渡邊太郎
金五十ミル 木村虎三郎
金二十ミル 同 長
金二十五ミル 馬辰
金五ミル 井川谷
金二十ミル 上脇
金十ミル 山口儀
金五ミル 山谷成助
金十ミル 同 馬
金二十ミル 同 井
金十ミル 小峰鑛
金五ミル 田野丸太
金二十ミル 同 興郎
金十ミル 運天政
金五十ミル セツラバラス青年會
金二十ミル 田村行
金百ミル 瀨川秀
金二十ミル 見澤元太郎 西村九吉
金百ミル 松實佐藤睦敬 武次郎
金二十ミル 石橋藤助
金十ミル 今井政市
金二十ミル 板橋李次郎 中島順三
金五十ミル 太田俊平 大河內庄太郎
●同地附近日伯人
10$000 Dr. Antonio Rodrigues de Muniz
" Dr. Kozo Koda
" Dr. Totaro Tamada
20$000 Dr. Toyokichi Kabata
15$000 Dr. Dalval de Castro
5$000 Dr. Antonio Reymundo
" Dr. Tavaristo Perreira Ramos
2$000 Dr. João Lucas Ferreira
1$000 Dr. Salvador F. de Sanza
" Dr. João Tertuliano de Camargo
" Dr. José Theobardo de Moraes
" Dr. Denizi Soares
" Dr. Vergilio Procopio do Freito
" Dr. José Perres de Oliveira
$500 Dr. Antonio José de Freito
" Dr. Antonio Freito
800 Dr. Oscar Ozrio de Franca
" Dr. João Alves da Silva
●イケアツベ都レザストロ植民地 青年團
金六十ミル 同 中央青年團
金二十ミル 同 第四部青年團
金五十ミル
●ソロカバナ線アルバレスマシナード驛
●アレゴン殖民地第拾壹區 原榮吉
金二百ミル 桑原
金百ミル 橫尾仙一
金五十ミル 宮本菊太郎
金百ミル 井手次郎
金百九十ミル 橫尾佐藏
金五十ミル 村上爲吉
金百ミル 中井安藏
金五十ミル 小田治郎
金百ミル 猪俣太郎
金二十ミル 加藤彥
金三十ミル 打田五郎
金二百ミル 初田
金二十ミル 橋本喜
金百ミル 山下サミヨ
金三百ミル 山下定八
●モヤアナ線サンジョアキン驛ペロー耕地 藤田貞
金三十ミル 宛 田島用太郎
金二百ミル 中浅次郎
金二十ミル 記鹽
金十ミル 吉遠藤文
金二十ミル 黑岩重太郎
金十ミル 武居三男
宛 松浦半
●Dr. Francisco José Santo
●サントス市 藤川元助
金三十ミル 大塚隆彥
金二十ミル 青青探町
●ジョキアンタ線アンナ驛 木繁
金五十ミル 木督十
●モヤアナ線ジャタイ驛 原作三
金二十ミル 青助
金二十ミル
金三十ミル
金二十ミル
金五十ミル
●同線同驛カナン耕地 高橋武
金二十ミル 大畑義雄

富田富藏 與那嶺與次
●サンパウロゴヤス線オリンピア驛 高橋道好
金二十ミル
●ノロエステ線ナビリサ驛パラランテ植民地 板本傳吉
金二十ミル宛 泉彌左衛門 榎田請之助
泉善一 榎田際信一
東香太郎 丸岡蒸
●バウル驛マカバス耕地 加來晉一
金二十ミル 成宮復
●ソロカバナ線プレジデンテベナルデス驛 岡本與茂藏
金三十ミル 仁井與二郎
金二十ミル 石川俊雄
金百ミル 無名氏
金二十ミル
●セントラル線モヤダタルーセス驛 小野豐藏
金三十ミル
金三十ミル 宮原民次郎
●バウリスタ線コリーナ驛ガリロパ耕地 兒玉重造
金二十ミル 富作造
金二十ミル 同
金五十ミル 中野龍一郎
金三十ミル 堺正
●同線同驛サカロ耕地 嘉悅辰太郎
金百ミル 長野鹿三
金七十ミル
●同線同驛バアアス耕地
20$000 Dr. Antonio Dias Machado
10$000 Dr. Francisco Oliveira
金五十ミル 吉川幸二郎
5$000 Dr. Lorenzo Lalleate
金二十ミル 平田義夫
同 片岡次郎
金五十ミル 吉瀨富男
●モヤアナ線モンテイロ驛ケアタバラ耕地 川本清
金二十ミル 小井手直文
金二十五ミル 小井手フサ子
金二十五ミル 和田松
金二十五ミル 大三之亟
金二十五ミル 永田藤岡登
金二十五ミル 富崎稔
金二十ミル宛 富田太郎
金二十ミル 前田新
金二十ミル 加藤浪吉
金十ミル 西野四郎
金十ミル 濱本蠶太郎
金十ミル宛 沖本房次郎
金十ミル 高野新竹次
金十ミル 中尾勝三郎
金二十ミル 川秀次郎
金十ミル
金二十ミル
金十ミル
金二十ミル
金十ミル
金二十ミル

リベイラ流域へ

# 歐洲戰參加した伊太利の在鄉軍人の團體植民

## 最初の試として實行

### ムソリニ首相大賛成

こちらでは國防上肝要な地帶だから海岸地方に外國人植民地を設けてはならぬとか、イグアペ地方へ日本人植民地を設けさしたのは

**不都合**　だと論じ立てゝゐる間に歐洲大戰に砲火をくゞつて來た在鄉軍人ばかりで團體植民を、而も問題の沿海地方に大仕掛でやらうと云ふ議が伊太利に熟して、その實行も近相なので愈々神經家連の神經をとんがらかせるだらうが、それは昨年十月及十一月にかけて伯國へ視察旅行に來たドメニコ・バルトロッチ博士の調査の結果、同博士を

**首腦と**　してリベイラ植民株式會社が、同じく同博士の關係する在鄉軍人協會と諒解の下に組織されたのだが今度愈々その實行期に入る事となり、七日の羅馬電報によると同日在鄉軍人協會代表委員等はムソリニ首相に會見し、前記バルトロッチ博士から最初の試みとして聖州イグアペのリベイラ流域へ團體植民をする計畫について

**詳しく**　説明した所、首相は此の組織は外國に於て移民を最も完全に保護する方法だと大賛成をし其の成功を祈つた、尚ほ其際代表委員一同はイビランガの聖州博物館秘藏のペドロ・アメリコ作伯國獨立の叫の額面を、伊太利畫家が模寫したものを首相に贈呈した、因に

**第一回**　の植民は近く渡伯する筈で全部大戰に參加した在鄉軍人家族のみでなつてゐる相である

## 來年三月羅馬で國際移民會議

外交的でなく實際的

伊太利新聞に依ると羅馬に本部を有する移民常設委員會に代表者を有する伯國、亞國、米國其他諸國の

**代表等**　等は來年三月羅馬に開火及掃除夫は全部即死其他從業員は皆重傷を負ひ乘客中にも多數の死傷がある模樣である中央鐵道局では此報に接し直ちに救護列車を現場に急派すると共に原因調査を開始した

伯國在留邦人の

## 留守宅震災便り（二）

去る五日の北米經由便で震災地から來た便りの内で、齋藤總領事の東京留守宅は全息（しんそく）が鎌倉の植村澄三郎氏の別莊へ避暑中震災に遇ひ壁が落ちる中を二階に眠れるように辛うじて助け出しての後は海濱と云ふ驚きで、一時はどうしようかと思つたが幸ひに其の場所が高臺であつたが爲め津浪の難を免かれて無事だつたと、又中の令嬢は平塚に在つて無事、上の令嬢は東京に在つて類焼は免かれたが食物缺乏で萎びだけで數日を凌げる爲め力が抜けて病人の態

十餘名の傷者を生じた騒ぎを演じた

中央線でミナス發の

## 乘客列車の脫線

……各車皆轉覆……

七日朝ミナスからリオ行の乘客列車がコリント驛を發車してタンボリ驛に近づいた時俄然脫線機關車始めリオ行乘客で滿員の各車は最後の一輛を殘して全部横倒しとなり機關手火夫及掃除夫は全部即死其他從業員は皆重傷を負ひ乘客中にも多數の死傷がある模樣である中央鐵道局では此報に接し直ちに救護列車を現場に急派すると共に原因調査を開始した

## 有望な伯國の養蠶

### マモンの葉を食ふ蠶

#### ペドロ王に知られた養蠶家の實驗談

六日のブラジル農業聯盟の例會席上で渡伯以來三十四年間聖州で養蠶から製絲業に從事してゐると云ふシリアン人サロモン・ブファラー氏が、有望至極な伯國の養蠶に就き

**興味あ**　る實驗講話をした、それに依ると氏は渡伯した當時は帝政でドン・ペドロ二世王に知られ、國内に養蠶の發達を計る爲に大に賞讃して時の農相モウラ・ブラジル氏に推奬された程で、最初はレゼンデでタウバテに移り、更に現住のサンタクルス・ダ・エストレエラへ移つて其處で今日迄既に

**卅一年**　住んでゐる、既に數千本の桑樹を有し製絲の爲には熱湯、冷水或は乾燥のまゝ糸を繰り得る機械をも發明し、又蠶と一種の土着芋虫から新蠶種を作り出したりした此の蠶と芋虫の合の子新種はマモンの葉を飼料とし得普通種のやうに手數がかゝらない、シリアの或學者が發見したもので同國では非常に盛に飼養されてゐる相である尚ほ同氏は自己生産の繭や

**生糸の**　見本を示し伯國では一年何回も收繭出來るので大に有望だと説き、誰でも同事業についての詳報を知りたいものには喜んで回答するし蠶種をも供給すると述べ列席者に大なる感興を與へた

▼運動界▲

▼大篭原君が入つてから頓に運動熱の高まつたレヤストロでは去月二十八日の晩球大會が催され左記の番組で壮年組の優退戦を行ひ壮年組と大精組とが殘り大精組の勝となり非常に騒つた

金森組　青年組

安田　馬場　中村　沖　渡邊　滝田　鈴木　武者　戸山　武者　吉岡　佐々木　杉山　坂元　馬本　山本

▽人事往來△

▲獨逸譯生總領事館通譯生嶺吕氏はソロカバナ線樊地を巡廻し十一日間の旅行から今朝歸館

▲小笠原尚衛氏プレジョン殖民地の同氏は五年間苦辛を嘗めた同地を引上げ星名氏とも手を切つて今回中央線に入るべく出聖

## 州議會は年末まで

七月十四日以來開會中の州議會は例年の通り會期を十二月三十一日迄延ばすことを昨日兩院協議した

外相主催の

## 日本大使歡迎晩餐會

京濱大震災の爲遠慮して延び〳〵になつてゐた外相フュリス・バシエコ氏主催駐伯日本大使田付七太氏の歡迎晩餐會は本日午後八時イタマラチイ官邸で催される事になつた

南大河州の騒亂

## 漸く休戰となる

陸相演説後發砲騒ぎ

一年近くいがみ合ふ南大河州政爭亂を平和に解決したいと陸相が同地へ赴いた事は既報の通りだがその斡旋効を奏して愈々官反兩軍は七日正午から休戰と協議まとまり仲直りの條件を熟議する事になつたがその前日午後陸相がポルト・アレグレ市に入りグランデ・ホテルで群集の歡呼に答へる爲露臺から一場の演説をして中へ入つた後州警兵隊と群集と衝突を起し警兵隊は群衆に發砲した爲八

## 移轉と求人

**ブラジル横暇**　名會本部を今度聖市郊外ックルビイに移しましたから會員諸君にお知らせします。郵便の名宛は次の如く願ひます。

Liga Ingleza
Tucuruvi, St. Paulo

尚本會事務を手傳ふ青年獨身者を求む。希望の方は自筆履歴書を送り下さい。勉學修養の餘暇充分あり。

## 至急廣告

**一、カゼエロ兼コジネイロ**　右一名入用に付志望の方は至急左記へ御申込あれ

▲獨身者でも夫婦者でも可し

▲耕働場はモジアナ線ピラジュ

▲高給を支拂ふ、委細は面談

Rua General Jardim, 182
Rio Paulo

## 至急入用

**マカロン製造業**　志望の者にして身體壯健なる青年一名至急入用、給料其他詳細は左記へ御照會あり度し

アラクアラ線タクアリ
チンガ町（郵國八十二）
**渡邊正次**

## 廣告

小生共去る千九百十七年以降星名小笠原組合の名義を以て當州に於ける殖民地事業經營一切を解散し其權利一切は星名謙一郎に譲渡し爾今以後星名謙一郎に從前の通殖民地事業經營を致候間此段關係者に謹告仕候

千九百二十三年十月

**星名謙一郎**
**小笠原尚衛**

## 廣告

小生今般中央線ピンダモンニャンガーバ附近平原に轉住致し農牧の業に從事致し弘く高く、より清き意味に於て使命の爲に半生を捧ぐべく候此段廣告候也

大正十二年十月卅日

**小笠原尚衛**

## 廣告

サントス市で御藥を御買求めなさるお方は Pharmacia Brazil に限ります如何なれば當藥劑店は此のサントス市に於ける藥舗之元祖で且つ信用を得て居る店はサントス第一です今更申し上げるまでも有ありませんが店の直ぐ横前の角ですから當店の特色は多年間經驗の有る藥劑師である事と値段が他店より安い事尚始終日本人諸君の華客引きも切ぬ有樣ですから如何なる言語不解の御方も安心して御藥を御買ひなさる事が出來ます

◇廣告◇

Pharmacia Brazil
Rua Tiradentes Peijo, No. 373
PHARMACIA BRAZIL
—SANTOS—

## 拜啓

陳者從來葬事務所用郵函は六拾貳番に有之候處今回自二十四番に變更候條廣告候也

十月卅一日

リンス町（郵國百二十四番）

**上塚殖民地事務所**

人喜三次儀昨年來より病氣に付此處彼處と名醫の基に診察を受けしも快方に趣かず尚も此度聖市入院すべく出聖し病院長も非常に見安く診察し入院秀吉の必要なしとて歸途中實弟宅に立寄り養生中突然病勢變じ遂に其効を奏せず去月廿四日午前三時逝に永眠仕候間翌二十五日カタンツーバ共同墓地へ埋葬仕候間此段生前昏知諸賢へ謹告仕候

大正十二年十一月二日

妻　瀧内サカ
養子　同　太
弟　同　傳秀
甥　同　吉士郎
親族　山崎利太郎
同　内休兵太郎
瀧内太郎良
安心院友作
安心院利吉
友人　上瀧谷千代平
佐々木專藏
堀野江口藤守吾光

愚夫實藏儀豫てカンポス・ドジョルドンに於て保養中俄に前十一時十分終に去月三十日午劇症に變じ終に死去致三十一日該地共同墓地に埋葬仕候間謹告仕候也

御厚情を賜り候諸彦に御禮申上候紙上を以て厚く御禮申上候

大正十二年十一月八日

妻　マリア・ヤマダ
兄　山田勘一
姪　ヲリエ
甥　同　久子
親戚　同　聖二
同　ペチエル家一
友人　稲葉定一
池町彌
長谷川木
西村權
羽房藏
本高吉記
中山太郎
梅田忠倉
熊坂仁松久太郎
小椎木兒玉村
清水野清良八一藏
為

9 de Novembro de 1923 No. 318

# Noticias do Brazil

大正十二年十一月九日　金曜日　第三百十八號

## 大石内藏之助

第百四十五回

半井桃水

奥方は此の體を見て、良人の卑怯に呆れ果て、此の夜上杉家へ立歸つた儘、重ねて上野介に面を合さず、事實は全く絶縁した。上杉家の老臣千阪兵部が、上野介の面を冒して、切に苦諫を試みたのは、此の後であつた。

『奥五郎はおふぢおすゑを、當家へ入込ますことが出來ぬなら、切めて上杉家へなりと、奉公させて貰さたう思うた。

『左樣いふ奥方樣へ、御奉公を致しますれば、妹どもも誠に幸福、且那樣のお力をもちまして、若しも願ひが叶ひませうなら、有り難い事に御座ります』

『身共は奥方の御意に適ひ、此方へ勤め居る者で、上杉家へ參る度お目通り許されるのは、身共の外に一人もないのぢや、明日は上杉家へ參り上方の模樣も、逐一言上致さにやならぬ、其の折お願ひ申上げたら、多分お召抱へ下されう、萬一夫が叶はいでも、外へいくらも口はある』

『勝手を申上げるでは御座りませぬが、相成りませう事なら、そんな結構な奥方樣へ、御奉公致させたいもの、一月や二月、遲れます分は厭ひませぬ』

『二人一處に叶はぬまでも、一人位は何とかして、願はれぬ事もあるまい』

『何分ともに宜しくお願ひ申上げます』

奥五郎は用意の土産物を治部右衛門の前に差出し、

『是は差上げられるやうな物でも御座りませぬが、今日お伺ひ致しましたしるし。お收め下さりませうなら有り難う存じます』

『はて其の樣な心づかひでは痛み入る、併し折角の志ぢや、何かは知らぬが受けて置く』

『イヤもうほんのお笑ひ草で御座ります、今日は妹を、淺草の觀世音へ連れて參らうと存じますゆゑ、是でお暇申上げます』

『マ、切めて食事でも致した上』

『思召に背きましては相濟みませぬが、今日の所は、お預け申上げて置きます』

三人は强て辭して、大須賀の許を出た。今や門に差掛つた時、耳尻から激しい聲で、

『下に居らう』と罵しられ、狼狽て土下坐した時、上野介の乘物は、しづ〳〵打たせて門を出た。

* * *

三人は腕躍らせながら、行列の過去るまで土下坐して、やがて立あがり門を出た。無量の感慨に閉ぢられて、三人は言葉もなく、俯向いた儘歩を運んだが、不圖見れば五六歩跡から、饅頭笠を戴いた、仲間體の男二人、始終跟けて來るのであつた。扨は吉良家に怪しまれたかと、互ひに相警めつゝ、わざと高聲に話して行く。

『何と妹、好い御邸ではあるまいか』

『ほんに左樣で御座んすなア、夫にお殿樣のお駕籠の立派さ、私やあのやうなお乘物、遂に見た事が御座んせぬ』

『大須賀樣のやうな、好い御家來をお持ちになつた、お殿樣で御座んすもの、おえらいお方に違ひはない』

『あの樣なお殿樣に斬りかけなさつた、淺野樣とやらは、矢張世間の噂通り、お氣が狂たのであらうわへ』

『夫に大須賀樣のお話では、淺野樣の御家來が、吉良のお殿樣をお恨み申して、何じややら惡い企圖をするとの取沙汰、それゆゑ出入も嚴重に改めるとか仰しやつたが、氣狂の殿樣に、御奉公した御家來は、矢張氣狂で御座んすなア、オホ、、、』

◆開　業◆

小麥仕込みの品質上等佳味の醬油を賣出しますから一度御試しの上續々御注文の程御願ひ申します

醸造元　川　川床榮吉

Caixa Postal, 13
Est. Birigüy L. Noroeste

Toyoco Sasaki
Parteira Diplomada no Japão e em São Paulo
——住所住所——
分娩及び診療の御呼出は何時にても應じます
公認　産婆
佐々木とよ子
ルアフレヒイカチカ一五三
マルニダアアサンパウロ
電話シダーデ二〇三番

御菓子

村上銀市
Rua C. Barzalas, 21

旅館

まんぢう、やうかん
せんべい、その他
◆日本金買升

エスタソン
ソロカバナ前通り
電話シダーデ一四七六
東京館
Rua Maua, 199
S. Paulo

伯剌西爾時報取次所
旅館
成功館
サントス港
古謝將義
Largo 7 de Setembro, 15
Tel. Central, 2068, Santos

セードロ、ペローバ買入度し委細は本店に御問合せ下さい
カーザ東京
家具商
材木
杉本芳之助
Rua B. de Itapetininga, 20 S. Paulo

◆日本人に對する法律事件の相談
辯護士
ジョアキン、デルフイノ、リベーロ、ダ、ルーズ
事務所　聯邦警察局隣物四階十四號室
Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz
L. da Sé, 3, 3º. andar Sala, 14 S. Paulo

セントラル線の
◆土地賣却◆

セントラル線モヂ・ダス・クルーゼス驛サンパウロより汽車一時間半より六キロ米突バイロ・ド・コケイラにありサーレゾポリス街道に沿ふ耕地を一地區十アルケールス宛に分割したる耕作、蔬菜、果樹栽培等に好適する土地を一アルケール百ミルレース宛三ケ年賦にて賣却す同耕地内及び附近には日本人農作者約二十家族人植しあり、詳細は左記宛御照會を乞ふ

大正十二年五月

小野豐藏
T. Ono, Bairro do Cacuru
Mogy das Cruzes
Linha Central

◆最新流行新形◆
◆洋服廉價調製◆

GASA ALOISE
Telephane Central, 3844
Rua Liberdade, 53

洋服店
カーザ・アロイゼ
聖市リベルダーデ街五十三番
電話セントラール三八四四番

日本郵船株式會社
オリ・デ・ジヤネイロ出帆船

南米日本間の最短航路
南阿及新嘉坡經由『神戸まで七十日間』

◆神奈川丸　來年一月下旬リオ發
◆河内丸　來年三月中旬リオ發
◆鎌倉丸　來年五月初旬リオ發

リオ日本間（一等七十六磅
旅客船賃（三等壹コント

追て出帆期日其他は當社代理店たる左記へ御問合せ被下度候

聖市　Antunes dos Santos & Co.
Rua José Bonifacio, 17 S. Paulo
リオ　Lamport & Holt Ltd.
Av. Rio Branco, 21-23 Rio de Janeiro

Caixa Postal, 756 Rua Quitanda No. 10 S. Paulo

尚詳細は左記へ御照會被下度日本文ならば時報社宛に願上候
聖市キタンダ街十番
ブロンベルグ會社

遠藤商店
T. ENDO
Rua C. de Barzedas, 23
S. Paulo

セントラール線モヂ・ダス・クルーゼス驛サンパウロより汽車一時間半より六キロ米突バイロ・ド・コケイラにありサーレゾポリス街道に沿ふ耕地を一地區十アルケールス宛に分割したる耕作、蔬菜、果樹栽培等に好適する土地を一アルケール百ミルレース宛三ケ年賦にて賣却す同耕地内及び附近には日本人農作者約二十家族人植しあり、詳細は左記宛御照會を乞ふ

大正十二年五月

小野豐藏
T. Ono, Bairro do Cacuru
Mogy das Cruzes
Linha Central

著さに向ふ時家庭には是非ホシ小兒專門藥を御備へ下さい七種類一箱代十七ミルレース送料壹ミル貳百

（ホシ血の道藥、ホシ胃腸藥、ホシ下劑、各六ミル、送料壹ミル二百レース

諸雜貨、書籍類、噴霧器ヴエルデバリスの取次
▼貨本も致します

遠藤商店
T. ENDO
Rua C. de Barzedas, 23
S. Paulo

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380
Rio de Janeiro

送金聖鄕

一、送金の佰貨は當店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可仕候
二、日本内地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全　無手數料にて御郷里の受取人へ送り屆け申上候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶は横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下たく候

金

日本貨定期預金利息　六ケ月以上　年六分
佰貨定期預金利息　六ケ月以上　年四分五厘
佰貨當座預金（小口）　壹ケ年以上　年五分
年四分

◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候
◆預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成度はゞ御便宜に有之候

リオ・デ・ジヤネイロ
横濱正金銀行支店

OSAKA SHOSEN KAISHA

大阪商船會社汽船發着廣告

●メキシコ丸
北米パナマ經由　サントス發十一月十七日
横濱、神戸行き　リオ港發十一月十八日

●シカゴ丸
日本ヨリ　リオ港着十一月十二日
サントス着十一月十四日
サントス、リオより横濱ゆき

船客運賃　一等三コント
三等一コント

尚詳細は左記へ御問合せ被下度候
Antunes dos Santos & Co.
S. Paulo :— Rua José Bonifacio, 17
Santos :— Rua 15 de Novembro, 167
Wilson Sons & Co. Ltd.
Rio de Janeiro :— Av. Rio Branco, 37

K

各地食糧店にあり
削節
干魚
發賣元
三共商會
Rua Senador Dantas, 53
Teleph. Cent. 3054
Caixa Patal, 323 SANTOS